

Enterprise Management Suite 2.0

対象製品バージョン : 1.4.12.4

使用説明書 第 2 版

2015/2/16

目次

I	システム条件	5
II	インストール	6
III	EMS 2.0 の実行	8
IV	機能	9
1.	EMS 2 の概要	9
1.	オンライン／オフライン ボタン	9
2.	MUTE ボタン	10
3.	デバイス	10
(1)	DVR または NVR の追加	12
(2)	IP カメラグループの追加	15
(3)	IP camera - Auto scan	16
(4)	IP CAMERA INFO	17
(5)	予約録画（予定機能）	17
(6)	IP Discovery	19
4.	ツリー表示	22
(1)	アイコンの種類	23
(2)	アイコンが示すデバイスの状態	24
5.	メインウインドウ	24
(1)	ライブ	24
(2)	再生	25
(3)	E マップ	25
(4)	ヘルスチェック	25
(5)	ヘルスチェックウインドウの背景色とアイコン表示	25
2.	EMS2 の設定	30
3.	EMS2 アカウント	34
4.	EMS2 ログ	35
V	DVR, NVR, IP カメラの制御	37
1.	デバイスリストの右クリックメニュー	37
1.	グループ	37
2.	DVR または NVR	38
3.	仮想 DVR	38
4.	IP カメラグループ	39
5.	E マップ	39
2.	ライブ／再生ウインドウの右クリックメニュー	40
3.	ライブ監視／再生共通	41

1. 個別の DVR / NVR / IP カメラグループ	41
2. 仮想 DVR	48
(1) 仮想 DVR とは	48
(2) 仮想 DVR の追加	48
(3) 仮想 DVR へのデバイスの追加	48
(4) 仮想 DVR によるライブ監視	49
(5) 仮想 DVR からのチャンネルの削除	49
3. 再生モード	49
(1) リモート検索	49
(2) Time search select (時間検索選択)	52
(3) Event edit (イベント編集)	52
(4) Go to search	53
(5) ダウンロード状態	54
(6) ローカル検索	55
4. DVR / NVR のプロパティ	56
5. ログ (DVR ログ)	59
6. 設定 (DVR / NVR の遠隔設定)	60
1. DVR / NVR と EMS2 での設定メニュー内の表現の相違について	60
7. POS データ検索	60
8. 制御	61
1. 録画	61
2. 予約録画	61
3. ブザー	61
4. DVR 設定	62
(1) エクスポート	62
(2) インポート	62
(3) アップデート	62
VI イベントアクション	65
VII E マップ	68
1. 背景図の挿入	69
2. アイコンの追加と削除	69
3. アイコンの右クリックメニュー	70
4. E マップ設定	72
5. E マップリンク	72
1. E マップリンクの作成	72
2. E マップリンクを利用したジャンプ	73
3. E マップでのイベント表示	73
VIII 付録	75

1. メニューバーの構成.....	75
1. <i>EMS2</i> ウィンドウ	75
2. 分離したライブウィンドウ.....	76
3. 分離した再生ウィンドウ	76
4. 分離したヘルスチェックウィンドウ.....	76
5. 分離したダウンロードウィンドウ	76
6. 分離した <i>E</i> マップウィンドウ	77

I システム条件

EMS 2 は、表示する DVR, NVR 及び IP カメラの数が増えるほどコンピュータのリソースを多く利用します。PC は、受信データストリームと、接続されたそれぞれの DVR/NVR/IP カメラからのリアルタイム警告を十分効率的に管理しなければなりません。そのため、PC にはより高い最低条件が必要です。

次の表は EMS 2 が適切に動作するための「最低」と「推薦」のシステム仕様を示すものです。

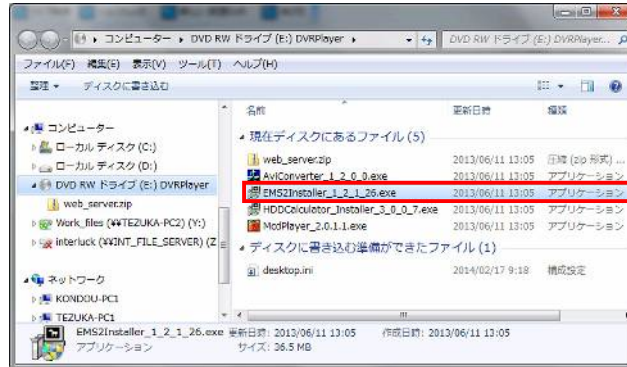
	最低	推薦
OS	Window XP SP1 (注)	Window 7 SP1 以上
CPU	Dual core 2.0G (空きリソース 90% 以上)	Quad core i5 (空きリソース 95% 以上)
RAM	1GB (空き物理メモリー 300MB)	4GB (空き物理メモリー 700MB)
ビデオカード	AGP 64MB メモリー	PCI-E 256MB メモリー
解像度	1024×768	1600×1200(1920×1080) 2 モニター
DirectX	DX 7.0 サポート	DX 9.0 サポート
ネットワーク	100Mbps Ethernet LAN	1Gbps Ethernet LAN
HDD	10GB の空き容量	40GB の空き容量

<注意>

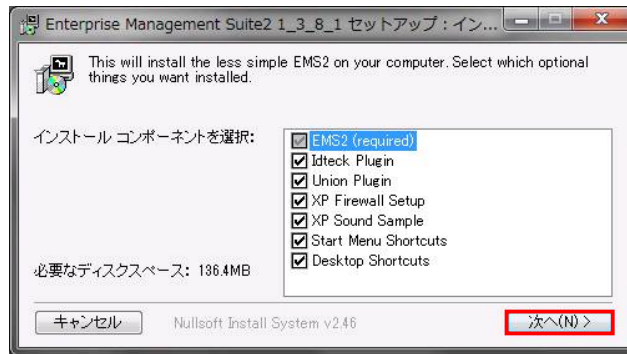
- EMS2 と同時インストールされる “IPDiscovery” は Windows XP ではご利用いただけません。
- DirectX 7.0 またはそれ以前のバージョンがインストールされている場合、EMS が実行できないことがあります。マイクロソフトから最新の DirectX をダウンロードしてください。
- Windows XP は 2014 年 4 月 9 日に Microsoft 社によるサポートが終了しております。より新しいオペレーティングシステムのご利用をお勧め致します。

II インストール

製品に付属している CD を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、エクスプローラ等で CD-ROM のルートフォルダを表示し、“EMS2Installer_*_*_*_*_.exe” を実行します。（“*” はバージョンを示す数字）



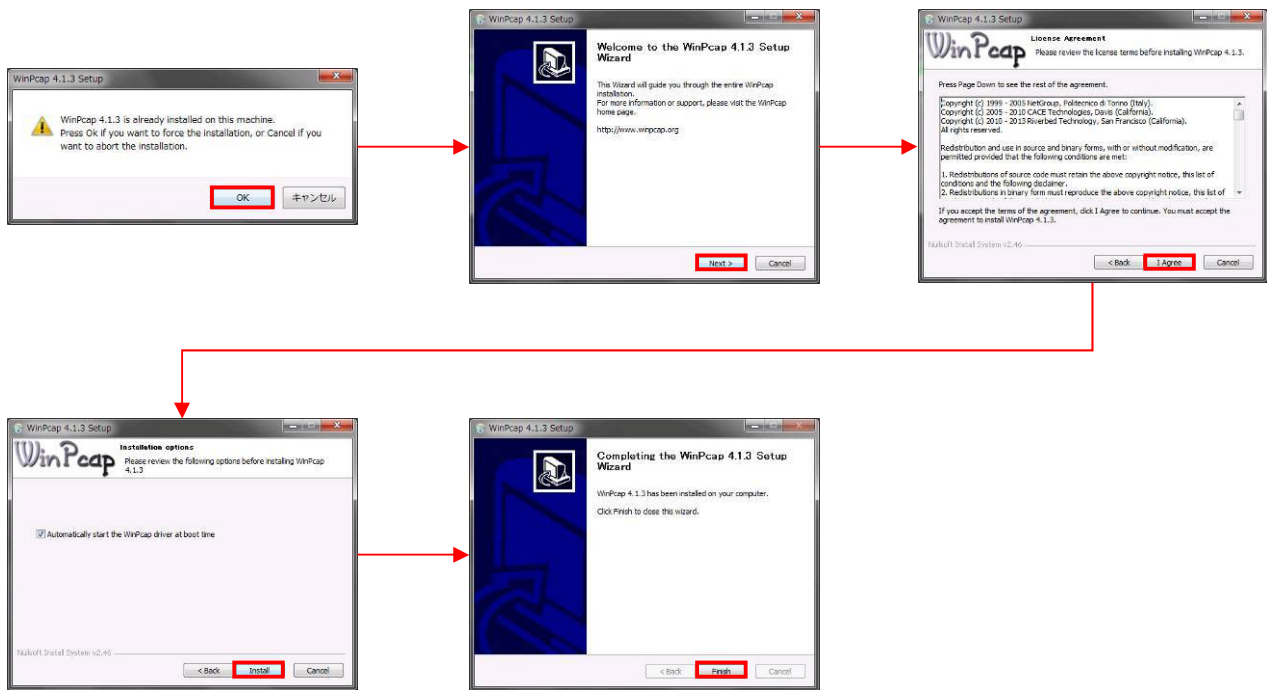
セットアップダイアログが開いたら、インストールオプションを選択し、**次へ (N) >** ボタンをクリックします。



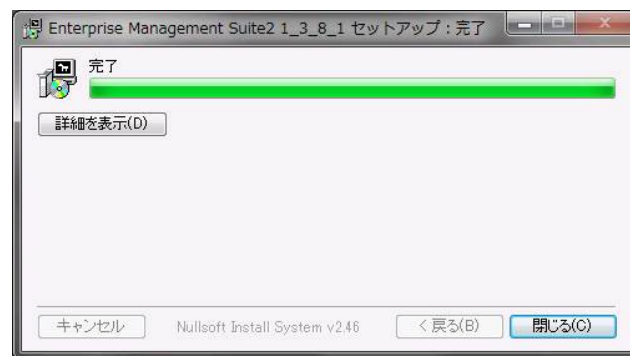
次に、EMS2 をインストールするフォルダを選択します。必要の場合は変更し、**インストール** をクリックします。初期設定では“C:\Program Files\EMS2”（64 ビット版 OS では“C:\Program Files (x86)\EMS2”）が選択されます。インストール先が決まったら**インストール** ボタンをクリックします。




インストール中に以下のような別のソフトウェア“WinPcap”のインストールを促されますので、インストールを実行してください。これは IP カメラを利用するために必要なソフトウェアです。



以下のような完了を示すウインドウが表示されたら、**閉じる** ボタンをクリックしてインストールを完了します。



III EMS 2.0 の実行

スタートメニューから「全てのプログラム」→「EMS2」→「EMS2」をクリックするかデスクトップ上の  アイコンをダブルクリックすると、以下のようなログインウィンドウが表示されます。



起動用の ID とパスワードの初期設定値は以下のようになります。

ID= admin

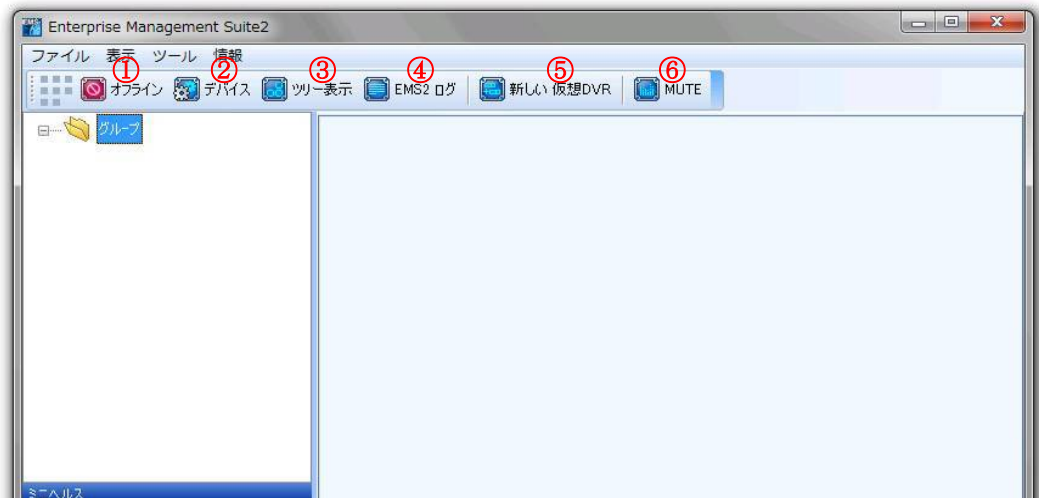
Pass= Q

この画面で起動せずに終了する場合は、マウスで **取消** をクリックするかキーボードの **ESC** キーを押してください。

起動用の ID とパスワードの変更方法は 30 ページの「EMS2 の設定」を参照してください。

IV 機能



1. EMS 2 の概要



- | | | |
|---|-----------------|-----------|
| ① | オンライン／オフライン ボタン | →9 ページ参照 |
| ② | デバイス ボタン | →10 ページ参照 |
| ③ | ツリー表示 ボタン | →22 ページ参照 |
| ④ | EMS2 ログ ボタン | →35 ページ参照 |
| ⑤ | 新しい仮想 DVR ボタン | →48 ページ参照 |
| ⑥ | MUTE ボタン | →10 ページ参照 |

1. オンライン／オフライン ボタン

デバイスマネージャーで「自動接続」がチェックされている全てのデバイスへの接続と切断を交互に切り替えます。



 オフライン	オフライン デバイス（DVR, NVR, IP カメラ）への接続を行わない状態であることを示します。デバイスの登録や削除はこの状態で行ないます。
 オンライン	オンライン デバイス（DVR, NVR, IP カメラ）への接続を行う状態であることを示します。遠隔監視・遠隔再生・バックアップ等、通常の操作はこの状態で行います。

<注意>

- 「自動接続」がチェックされていないデバイスには「オンライン」状態でも接続されません。

2. MUTE ボタン

PC のスピーカーに出力する DVR・NVR・IP カメラからの音声を消音の ON と OFF を交互に切りかえます。

 MUTE	メインウインドウに表示されているライブまたは再生ウインドウの音声が出力される状態であることを示します。
 MUTE	メインウインドウに表示されているライブまたは再生ウインドウの音声が出力されない状態（消音状態）であることを示します。

<注意>

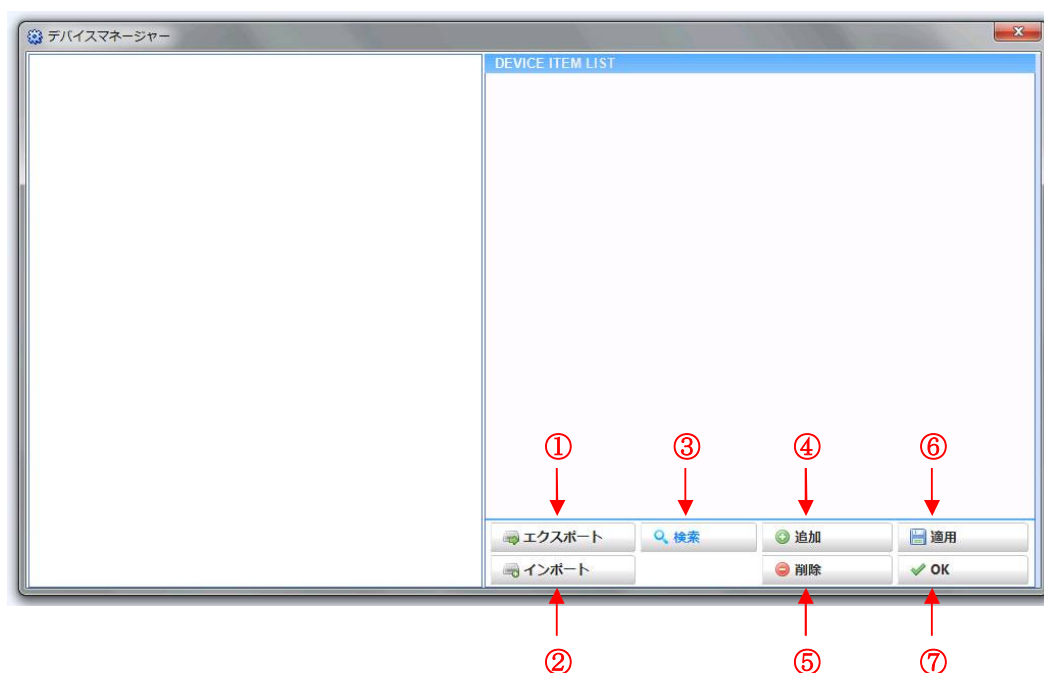
- このボタンを押した後は、対象のメインウインドウを一旦閉じてから再び開いてください。

3. デバイス

デバイスマネージャーを表示します。デバイスマネージャーでは、デバイス（DVR, NVR, IP カメラ）の追加・削除、デバイス情報のインポート・エクスポート等を行うことが出来ます。

<注意>

デバイス ボタンはオフライン状態の時だけ表示されます。



① エクスポート

エクスポート機能は以下の手順で、登録されたデバイスの中から選択されているデバイスの情報を抽出することが出来ます。

- A. 登録情報をエクスポートするデバイスをマウスで選択し、**エクスポート** ボタンをクリックします。
- B. パスワードウィンドウがポップアップされたら、EMS2 の起動パスワードを入力します。
- C. ファイルを保存するディレクトリを指定します。
- D. 抽出するファイルのファイル名を入力します。(*.exp)

<情報>

- 複数のデバイス情報を 1 つのファイルにエクスポートする場合は、“DEVICE ITEM LIST” 上で対象の複数デバイスを選択した状態（反転表示）でエクスポートします。

② インポート

“*.exp” ファイルに保存されたデバイス情報を読み込んで登録情報に反映します。

③ 検索

ローカルネットワーク上のデバイスを自動的にスキャンし登録します。既に登録済みのデバイスはスキップします。（デバイスのホスト名と IP アドレスの第 4 オクテットの値が自動的に DVR 名称に入力されます）

検索されたデバイス用の ID は **“admin”**、パスワードは **“000000”** が自動的に初期設定されます。デバイスのパスワードを初期設定から変更している場合は、それぞれのデバイスを選択した状態で設定を変更してから、**適用** ボタンをクリックしてください。

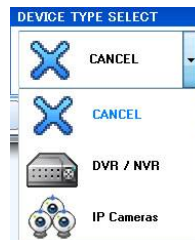
<例> ホスト名：**G123456** IP アドレス：**192.168.1.30** → DVR 名称：**G123456(30)**

④ 追加

ネットワーク上のデバイスを登録します。このボタンでは、ローカルネットワーク上のデバイスとインターネットや VPN を経由した遠隔地のデバイスのどちらでも登録できます。

追加 ボタンをクリックすると、下図のような「DEVICE TYPE SELECT」が表示されますので、適切なデバイスの種類を選択してください。

- **CANCEL**
デバイスの登録を中止します。
- **DVR/NVR**
DVR または NVR を登録します。
詳細は 12 ページ参照
- **IP Camera**
IP カメラグループを登録します。
詳細は 15 ページ参照



<注意>

- デバイスの追加は、対象のデバイスへの接続に成功するまで保存することは出来ません。

⑤ 削除

DEVICE ITEM LISTに表示されている登録済みのデバイスから、選択されているデバイス（反転表示されているデバイス）を削除します。

⑥ 適用

デバイスを追加した場合または“DEVICE ITEM LIST”から選択したデバイスの設定を変更した場合に、その状態を保存し適用します。

⑦ OK

デバイスを追加した場合または“DEVICE ITEM LIST”から選択したデバイスの設定を変更した場合に、その状態を保存し適用した後にデバイスマネージャーを閉じます。

<情報>

- 変更を適用・保存せずにデバイスマネージャーを閉じたい場合は、キーボードの **ESC** ボタンを押します。

(1) DVR または NVR の追加

DVR または NVR の追加は、同一ネットワーク内の場合 **検索** ボタンで自動的に追加できます。異なるネットワークの場合は 追加 ボタンをクリックし、次の項目を設定します。

DVR / NVR INFORMATION	
モデル	① AUTO
DVR 名称	②
IPアドレス	③ ④ ポート 0
ユーザー	⑤ admin
パスワード	⑥
その他	⑦ ⑨ <input checked="" type="checkbox"/> 自動接続
Download Path	⑧ D:\ProgramData\EMS2\
SCHEDULE BACKUP	
<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
<input checked="" type="radio"/> 毎日	<input type="radio"/> 毎時 0 毎時
<input checked="" type="radio"/> ノーマル	<input type="radio"/> モーション <input type="radio"/> イベント
<input type="checkbox"/> All Channels	
<input type="checkbox"/> 1 Ch	<input type="checkbox"/> 2 Ch
<input type="checkbox"/> 3 Ch	<input type="checkbox"/> 4 Ch
<input type="checkbox"/> 5 Ch	<input type="checkbox"/> 6 Ch
<input type="checkbox"/> 7 Ch	<input type="checkbox"/> 8 Ch
<input type="checkbox"/> 9 Ch	<input type="checkbox"/> 10 Ch
<input type="checkbox"/> 11 Ch	<input type="checkbox"/> 12 Ch
<input type="checkbox"/> 13 Ch	<input type="checkbox"/> 14 Ch
<input type="checkbox"/> 15 Ch	<input type="checkbox"/> 16 Ch

DEVICE ITEM LIST	

エクスポート	検索	追加	適用
インポート		削除	OK

DVR/NVR INFORMATION (DVR/NVR 情報)

項目	説明
①モデル	「AUTO」になっています、変更はできません。
②DVR 名称	<p>DVR または NVR の設置場所等を示す分かりやすい名称等を自由につけることができます。ここで指定した名称が画面左側のデバイスリストでデバイスの名称として表示されます。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● DVR 名称が未登録の場合、この設定を保存することは出来ません。
③IP アドレス	DVR または NVR の IP アドレスまたは DDNS 名を指定します。
④ポート	DVR または NVR のサービスポート番号を指定します。(工場出荷時の装置には「7000」が設定されています)
⑤ユーザー	DVR または NVR にログインするためのユーザー名を指定します。(工場出荷時の装置には「admin」が設定されています)
⑥パスワード	DVR または NVR にログインするためのパスワードを指定します。(工場出荷時の装置には「000000」が設定されています)
⑦その他	その他の、この装置に関する情報をメモとして自由記述出来ます。
⑧Download Path	<p>DVR または NVR に録画された映像をパソコンにダウンロードする場合のダウンロード先フォルダを指定します。</p> <p>初期値には「設定」ウインドウで指定した“Default Download Path”が入力されます。</p>
⑨自動接続	<p>EMS2 がオンライン状態の時に、このデバイスに接続する場合にチェックします。初期設定ではチェックされています。</p> <p><注意></p> <p>このチェックを外すと、オンライン状態にしても、この DVR または NVR に接続できなくなります。</p>

<情報>

- DVR または NVR の DDNS 設定を「デフォルト」に設定した場合の DDNS 名とは、DVR のホスト名と **DVRHOST.COM** のドメイン名をドット “.” で区切って入力します。
- 例：DVR または NVR のホスト名が **G123456** の場合の DDNS 名は、
G123456.DVRHOST.COM になります。

SCHEDULE BACKUP（予約バックアップ）

予約バックアップ機能は、1日または1時間に1回、決められた時刻にDVRまたはNVRに録画された映像を自動的にダウンロードする機能です。この機能はデバイス毎に設定します。

The screenshot shows the 'デバイスマネージャー' (Device Manager) window. The left pane has two tabs: 'DVR / NVR INFORMATION' and 'SCHEDULE BACKUP'. The 'SCHEDULE BACKUP' tab is selected. It contains the following settings:

- モデル:** AUTO (dropdown)
- DVR 名称:** (text field)
- IPアドレス:** (text field) **ポート:** 0 (text field)
- ユーザー:** admin (text field)
- パスワード:** (text field)
- その他:** (text field) ☒ 自動接続
- Download Path:** D:\ProgramData\EMS2\ (text field with search icon)

The 'SCHEDULE BACKUP' section includes:

- ON/OFF:** ☒ ON (1) ☐ OFF
- Frequency:** ☒ 毎日 (2) ☐ 毎時 **0** (spin box) **毎時**
- Mode:** ☒ ノーマル (3) ☐ モーション ☐ イベント
- Channels:** ☒ All Channels (4)
 - ☐ 1 Ch ☐ 2 Ch ☐ 3 Ch ☐ 4 Ch
 - ☐ 5 Ch ☐ 6 Ch ☐ 7 Ch ☐ 8 Ch
 - ☐ 9 Ch ☐ 10 Ch ☐ 11 Ch ☐ 12 Ch
 - ☐ 13 Ch ☐ 14 Ch ☐ 15 Ch ☐ 16 Ch

The right pane is titled 'DEVICE ITEM LIST' and shows a list of devices with a search icon. At the bottom, there are buttons: 'エクスポート', '検索', '追加', '適用', 'インポート', '削除', and 'OK'.

項目	説明
①ON/OFF	予約バックアップ機能を使用する場合に「ON」を選択します。
②毎日/毎時	毎日を選択した場合、1日に1回1日分のダウンロードを実行します。 毎時を選択した場合、1時間に1回1時間分のダウンロードを実行します。 右側のスピンドボックスではダウンロードを実行する時刻を毎日の場合1時間単位で、毎時の場合分単位で設定します。
③ノーマル/モーション/イベント	ダウンロード対象の録画モードを選択します。
④チャンネル	ダウンロード対象のチャンネルを指定します。

<情報>

- 予約バックアップ機能は、EMS2を起動していない状態であっても、パソコンが起動されていれば実行されます。
- バックアップフォルダの初期設定は、OSにより異なりますので「ファイル」メニューの「設定」で確認してください。
- バックアップフォルダは「ファイル」メニューの「設定」で変更することが出来ます。
- バックアップ用ドライブの残容量が3GBを下回ると、予約バックアップは有効にならなくなります。

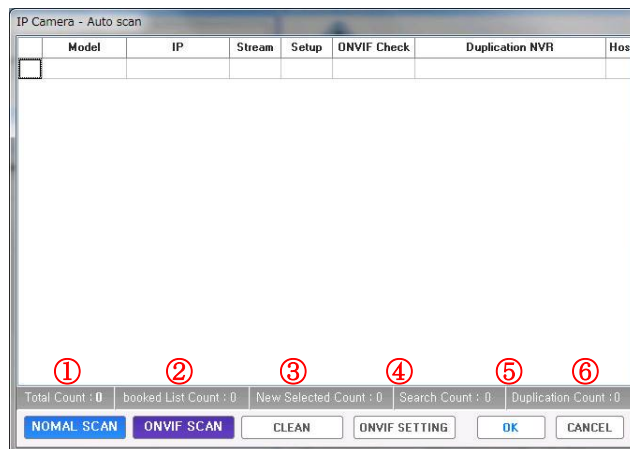
(2) IP カメラグループの追加

IP カメラは、複数台をグループ化した IP カメラグループとしてデバイスマネージャーに登録します。

項目	説明
①DVR 名称	<p>この IP カメラグループを示す分かりやすい名称等を自由につけることが出来ます。ここで指定した名称が画面左側のデバイスリストでデバイスの名称として表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><注意></p> <p>● DVR 名称が未登録の場合、この設定を保存することは出来ません。</p> </div>
②Download Path	IP カメラの映像をパソコンに録画する場合のダウンロード先フォルダを指定します。
③Live Stream 予定機能	マルチストリームカメラのどのストリームを受信するかを選択します。この機能は現在開発中のためご利用いただけません。
④Camera Count	このグループに登録されているカメラ数を表示します。
⑤ Scan ボタン	同一ネットワーク内の IP カメラを検索するための「IP camera - Auto scan」ウインドウを開きます。
⑥ Add ボタン	このグループに IP カメラを追加するための「IP CAMERA INFO」ウインドウを開きます。→17 ページ参照。
⑦ Del ボタン	選択した IP カメラをこのグループから削除します。
⑧ 予約録画 ボタン	このグループの予約録画を設定するためのウインドウを開きます。
⑨ ↑↓ ボタン	選択した IP カメラのカメラ番号を変更します。
⑩ IP Discovery	同一ネットワーク内の Pinetron 製 IP カメラの IP 設定を変更するための「IP Discovery」プログラムを起動します。

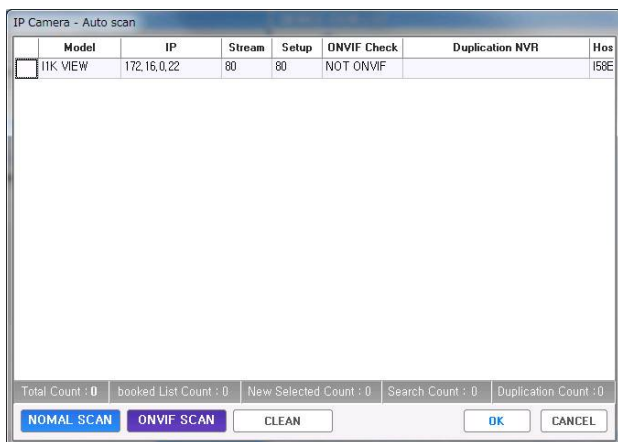
(3) IP camera - Auto scan

「IP camera - Auto scan」 ウィンドウでは、同一ネットワーク内の IP カメラを検索できます。



項目	説明
① NORMAL SCAN ボタン	Pinetron 社のプロトコルを持つカメラを検索しリストに表示します。
② ONVIF SCAN ボタン	ONVIF プロトコルを持つカメラを検索しリストに表示します。
③ CLEAN ボタン	リストを消去します。
④ ONVIF SETTING ボタン	ONVIF 用の ID とパスワードを設定します。
⑤ OK ボタン	リストを保存してウィンドウを閉じます。
⑥ CANCEL ボタン	リストを保存せずにウィンドウを閉じます。

スキャン結果は下図のようにリスト表示されます。



NORMAL SCAN



ONVIF SCAN

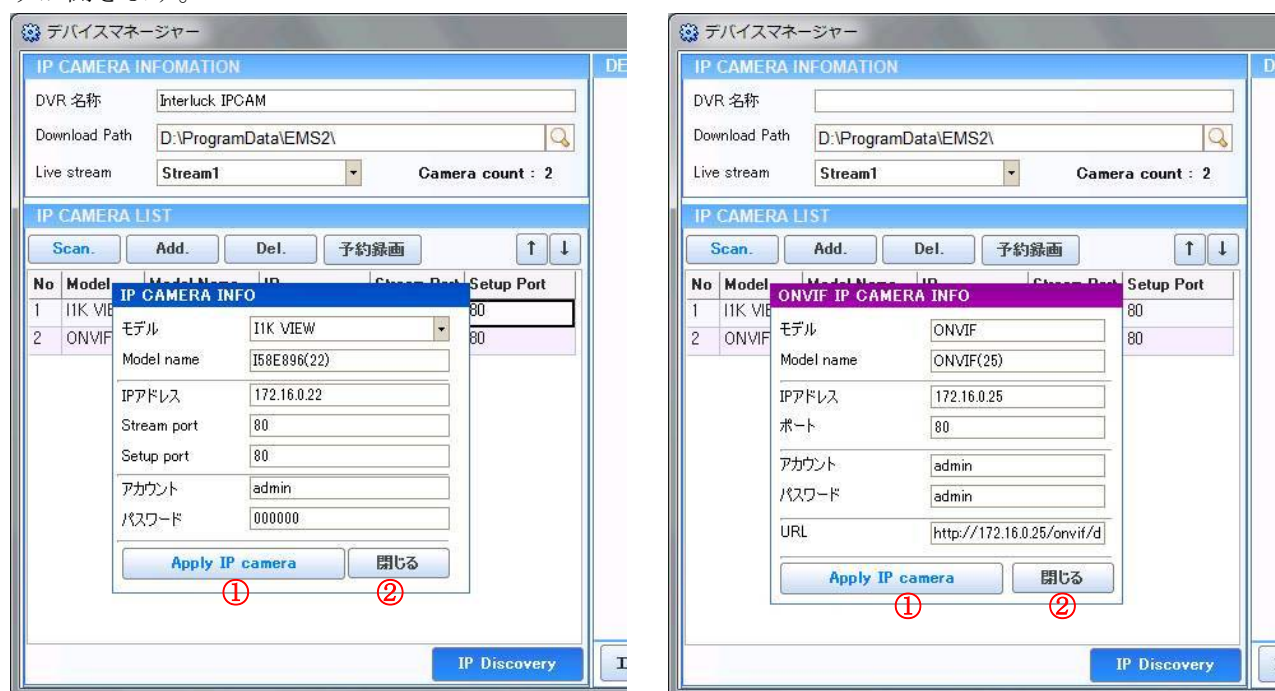
リストの内容は下表のようになります。

項目	説明
「 」 名称なし	対象の IP カメラの情報を保存するかどうかを選択します。「○」が表示されているカメラは保存されます。「○」はマウスで左クリックする毎に表示と非表示を切り換えることが出来ます。
Model	IP カメラの機種を分類するための名称が表示されます。
IP	IP カメラの IP アドレスを表示します。
Stream	IP カメラのストリーム転送用のサービスポート番号を表示します。
Setup	IP カメラの設定用のサービスポート番号を表示します。
ONVIF Check	IP カメラと ONVIF 接続が可能かどうかを表示します。
Duplication NVR	検索された IP カメラが、既に他の IP カメラグループに登録されている場合に、その IP カメラグループの DVR 名称（登録名）を表示します。

Hostname	IP カメラのホスト名を表示します。
----------	--------------------

(4) IP CAMERA INFO

「デバイスマネージャー」から特定のカメラをダブルクリックすると「IP CAMERA INFO」ウィンドウが開きます。



専用プロトコルカメラ

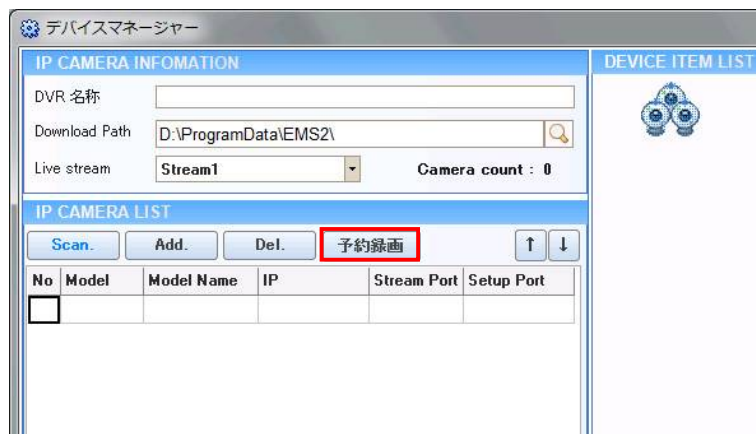
ONVIF プロトコルカメラ

項目	説明
モデル	IP カメラの機種を分類するための名称が選択します。 I1K VIEW : Pinetron 製カメラの場合に選択します。 O N V I F : その他の ONVIF カメラの場合に選択します。
Model name	IP カメラの名称を自由に設定できます。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを指定します。
ポート	ONVIF 接続のカメラのポート番号を指定します。
Stream port	Pinetron 製カメラのストリーム用ポート番号を指定します。
Setup Port	Pinetron 製カメラのス設定用ポート番号を指定します。
アカウント	IP カメラにログインするためのユーザー名を指定します。
パスワード	IP カメラにログインするためのパスワードを指定します。
URL	ONVIF アクセスのための URL が表示されています。変更はできません。
① Apply IP camera ボタン	設定を適用してウィンドウを閉じます。
② 閉じる ボタン	設定を適用せずにウィンドウを閉じます。

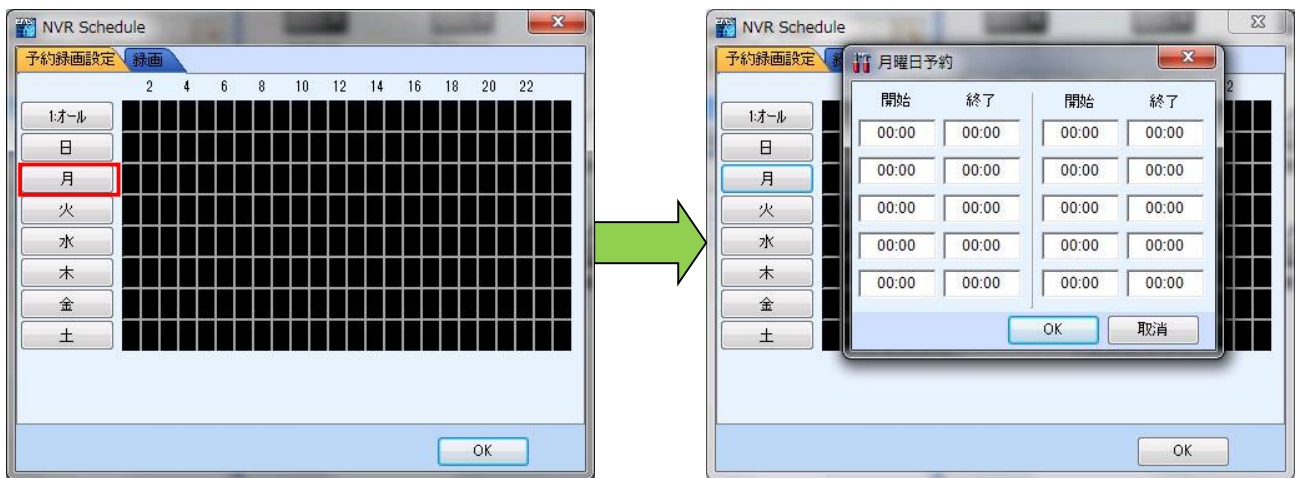
(5) 予約録画（予定機能）

EMS2 では、IP カメラグループに登録された IP カメラの映像を、パソコンのハードディスクに予約録画をすることが出来ます。

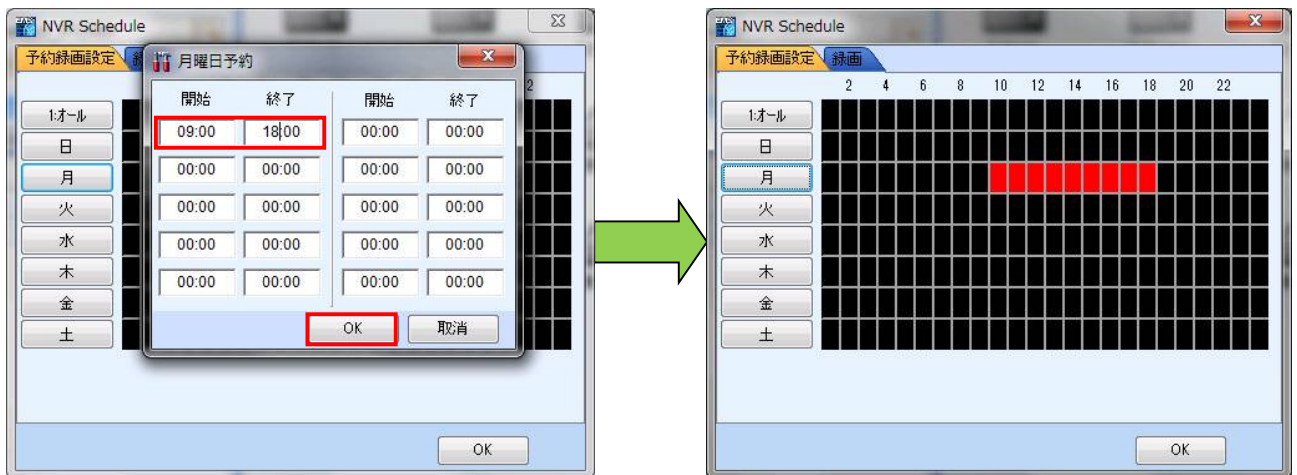
予約は、各曜日の 1 週間分のスケジュールに登録することが出来ます。



予約のスケジュールを登録するには、**予約録画** ボタンをクリックし、「NVR Schedule」ウインドウを開きます。



予約をしたい曜日のボタンをクリックすると、その曜日の予約スケジュールを入力するウインドウが開きます。



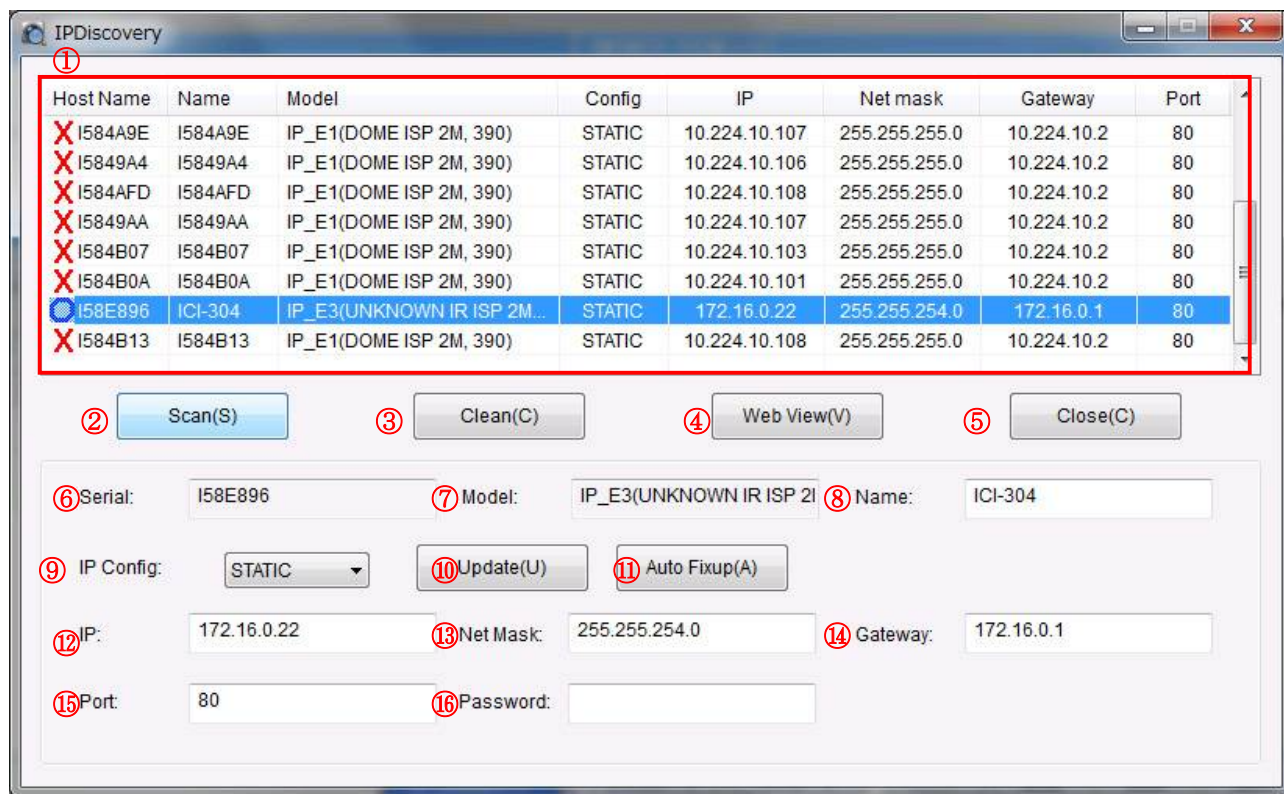
開始時刻と終了時刻を入力して OK ボタンをクリックすると、「予約録画設定」のバーグラフに反映され、予約録画が実行可能になります。この例では月曜日の9時から18時まで予約録画を実行します。

<情報>

- スケジュールは、曜日毎に開始と終了、最大10セット登録できます。
- 「オール」に登録したスケジュールは、全ての曜日に適用されます。

(6) IP Discovery

IP Discovery は、EMS2 から独立した IP カメラのネットワーク設定用ソフトウェアです。デバイスマネージャーから起動する以外に、スタートメニューからも起動できます。



① デバイスリスト

検出された IP カメラをリスト表示します。表の項目と意味は下表のようになります。

項目	説明
Host Name	<p>予め工場で設定された、カメラ 1 台毎に固有のホスト名を表示します。ホスト名をお客様が変更することは出来ません。</p> <p>ホスト名の左側の記号は、各カメラの IP 設定が現在パソコンからアクセス可能な設定になっているか否かをしめします。</p> <p>○ : アクセス可能</p> <p>× : アクセス不可能 (IP 設定の変更が必要です)</p>
Name	お客様がこのカメラのために設定したカメラ名称が表示されます。工場出荷時の初期設定はホスト名と同じです。
Model	IP カメラの機種の分類を示す型番が表示されます。(製品の型番と異なります)
Config	<p>IP カメラが IP アドレスを取得する方法が表示されます。</p> <p>STATIC : 固定 IP アドレスに設定されています。</p> <p>DHCP : DHCP サーバから IP アドレスを取得するように設定されています。</p>
IP	IP カメラに設定された IP アドレスを表示します。
Net mask	IP カメラに設定されたサブネットマスクを表示します。
Gateway	IP カメラに設定されたゲートウェイアドレスを表示します。
Port	IP カメラの HTTP サービスポート番号を表示します。

② Scan(S) ボタン

このボタンをクリックすると、IP Discovery を実行しているパソコンと同じネットワーク内に接続されている IP カメラを検索し、そのリストをデバイスリストに表示します。

<注意>

- リストに表示される IP カメラは、Pinetron 社のプロトコルに対応した製品のみです。他のプロトコルを持つ IP カメラ等は表示されません。

③ **Clean(C)** ボタン

デバイスリストを消去します。

④ **Web View(V)** ボタン

このボタンをクリックすると、デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの設定画面を、パソコンの Web ブラウザで表示します。

<注意>

- IP カメラの設定画面にログインするためには、管理者用の ID とパスワードが必要です。
工場出荷時設定
I D : “**admin**”
パスワード : “**000000**”
- デバイスリストで IP カメラが選択されていない状態の時は、Web View(V) ボタンは薄い灰色で表示され、利用できません。
- Internet Explorer, Windows 版 Safari 及び Chrome では、遠隔設定とライブ表示機能を利用できます。Fire Fox では、遠隔設定のみ利用できます。

⑤ **Close(C)** ボタン

このボタンをクリックすると、IP Discovery を終了します。

⑥ **Serial**

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラのホスト名が表示されます。

<注意>

- “Serial” の値を変更することは出来ません。

⑦ **Model**

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの機種の種類を示す文字列が表示されます。

<注意>

- “Model” の値を変更することは出来ません。
- “Model” の値は製品の型番とは異なります。

⑧ **Name**

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの、お客様が設定したカメラ名称が表示されます。また、これを変更することが出来ます。

<注意>

- IP カメラの工場出荷時は、カメラ名称としてホスト名が登録されています。
- 設定変更は **Update(U)** ボタンをクリックした後に適用されます。

⑨ IP Config

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの、IP アドレス取得方法が表示されます。また、これを変更することが出来ます。

<注意>

- IP カメラの工場出荷時は“STATIC”が設定されています。
- 設定変更は **Update(U)** ボタンをクリックした後に適用されます。

⑩ **Update(U)** ボタン

このボタンをクリックすると、デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの“Name” “IP Config” “IP” “Net Mask” “Gateway” “Port” の情報を更新します。

⑪ **Auto Fixup(F)** ボタン

デバイスリストに表示されている IP カメラの中で選択されている（反転表示されている）複数のカメラに、同時に IP 情報を割り当てることが出来ます。割り当てる IP アドレスは「⑫ IP」で指定した番号から始まる連続した番号を割り当てます。

<注意>

- IP カメラと現在ネットワーク上に存在する既存のネットワーク機器と IP アドレスが重複しないように開始番号の決定には十分ご注意ください。

⑫ IP

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの、IP アドレスを表示します。また、これを変更することが出来ます。

注意>

- IP カメラの工場出荷時は“192.168.0.251”が設定されています。
- 設定変更は **Update(U)** ボタンをクリックした後に適用されます。

⑬ Net Mask

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの、サブネットマスクを表示します。また、これを変更することが出来ます。

<注意>

- IP カメラの工場出荷時は“255.255.248.0”が設定されています。
- 設定変更は **Update(U)** ボタンをクリックした後に適用されます。

⑭ Gateway

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラが利用する、ゲートウェイのアドレスを表示します。また、これを変更することが出来ます。

<注意>

- IP カメラの工場出荷時は“192.168.0.1”が設定されています。
- 設定変更は **Update(U)** ボタンをクリックした後に適用されます。

⑮ Port

デバイスリストで選択した（反転表示されている）IP カメラの、HTTP サービスポート番号を表示します。また、これを変更することが出来ます。

<注意>

- IP カメラの工場出荷時は“80”が設定されています。
- 設定変更は **Update(U)** ボタンをクリックした後に適用されます。

⑯ Password

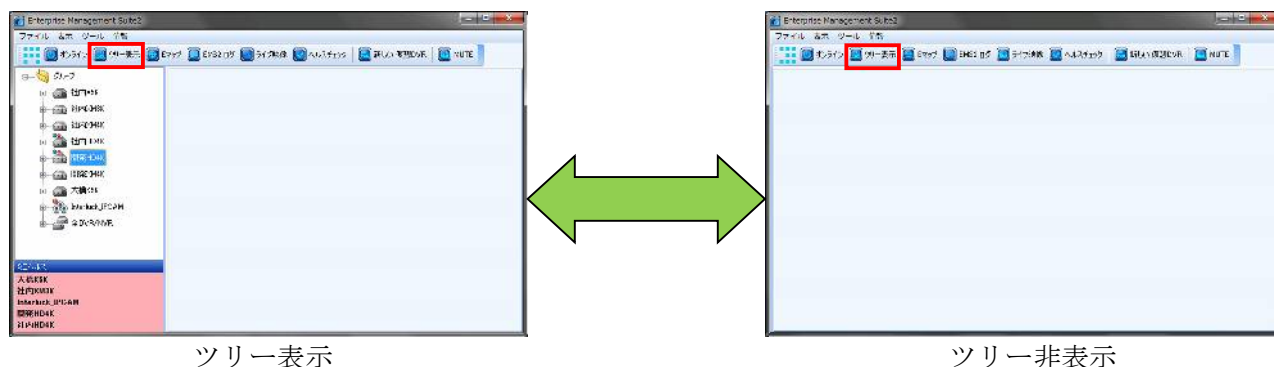
カメラに設定されている管理者パスワードを入力します。

<注意>

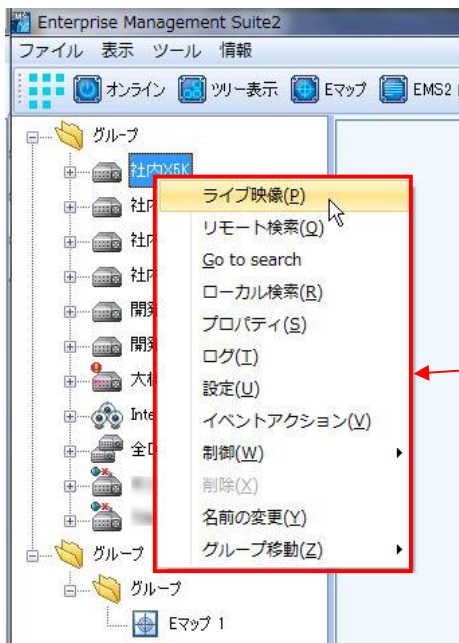
- **Update(U)** ボタンでネットワーク設定を更新するには、パスワードの入力が必要です。
- IP カメラの工場出荷時の初期パスワードは“000000”です。

4. ツリー表示

このボタンは、ウインドウ左側のデバイスリストの表示と非表示を切り替えることが出来ます。



デバイスリストには、DVR, NVR, IP カメラ等がアイコンで表示され、その右側に名称が表示されます。各アイコンに付ける名称は自由に変更することが出来ます。また、右クリックメニューも利用可能です。



リストは で展開、
 で折り畳めます。

名称は自由に変更可能



アイコンを右クリックすると、
メニューを利用できます。











(1) アイコンの種類

アイコンには以下のような種類があります。

アイコン	説明
	DVR, NVR, IP カメラグループ等のグループ及びサブグループを示します。
	DVR または NVR を示します。
	仮想 DVR (NVR も含みます) を示します。
	カメラを示します (アナログカメラ, IP カメラ共通)
	1 台の DVR または NVR に管理される全てのカメラを示します。
	アラーム (センサー) 入力を示します。
	それぞれのデバイスに管理されている全てのアラーム (センサー) 入力を示します。
	アラーム出力を示します。
	それぞれのデバイスに管理されている全てのアラーム出力を示します。
	IP カメラのグループを示します。
	E マップを示します。

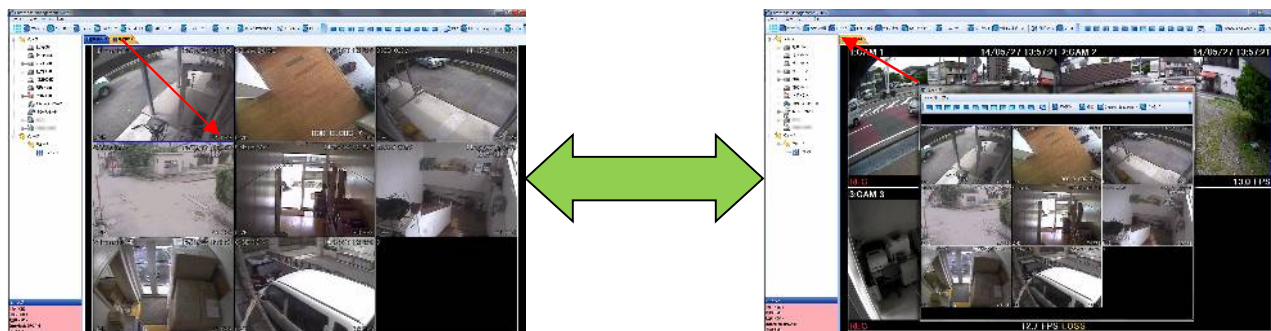
(2) アイコンが示すデバイスの状態

それぞれのアイコンは、下表のようにデバイスの状態を示します。

アイコン	説明
DVR, NVR, IP カメラグループ	
	EMS2 が、デバイスに正常に接続されている状態を示します。
	EMS2 が、デバイスに正常に接続されていないことを示します。
	EMS2 が、デバイスに（過去）正常に接続されていなかったが、現在は復旧している状態を示します。
アナログカメラ, IP カメラ	
	カメラからの映像信号／データは正常な状態で、DVR, NVR は録画状態ではない事示します。
	カメラからの映像信号／データが途切れている（ビデオロス）状態を示します。
	カメラからの映像信号／データは正常な状態で、録画中であることを示します。
アラーム（センサー）入力	
	アラーム（センサー）入力がトリガーされていない状態を示します。
	アラーム（センサー）入力がトリガーされている状態を示します。
アラーム（リレー）出力	
	アラーム（リレー）出力が、トリガーされていない状態を示します。
	アラーム（リレー）出力が、トリガーされている状態を示します。


5. メインウィンドウ

メインウィンドウは、開いたときにはタブ形式で表示され、別の独立したウィンドウとして表示させることが出来ます。また、独立して表示しているウィンドウはタブ表示に戻すことが出来ます。




タブ表示から独立したウィンドウの表示に切り替えるときは、タブをドラッグして他の場所でドロップします。独立したウィンドウの表示からタブ表示に切り替えるときは、独立したウィンドウのタイトルバーをドラッグして、ウィンドウの左上の角をメインウィンドウの左上の角に合わせてドロップします。また、この操作は必要に応じてウィンドウ毎に禁止することが出来ます。禁止の方法は 41 ページを参照してください。


タブを閉じる場合は、タブを右クリックして表示されたメニューから「閉じる」を選択します。

前面に表示されているウィンドウのタブは  閉じる ボタンで閉じることもできます。


(1) ライブ

DVR, NVR, IP カメラの現在の映像を表示します。このウインドウは各デバイスの右クリックメニューから「ライブ映像(P)」を選択することで表示されます。ライブウインドウのタブまたはタイトルバーには、左端にアイコンが表示されます。


(2) 再生

DVR, NVR の HDD に録画された映像を再生します。このウインドウは各デバイスの右クリックメニューから「リモート検索(Q)」または「ローカル検索」を選択した後に再生日時を指定することで表示されます。再生ウインドウのタブまたはタイトルバーには、左端にアイコンが表示されます。

(3) E マップ

平面の図面上にカメラの位置等を示す E マップを表示します。このウインドウはツリー表示の E マップアイコンの右クリックメニューから「開く(W)」を選択することで表示されます。E マップウインドウのタブまたはタイトルバーには、左端にアイコンが表示されます。

(4) ヘルスチェック

各デバイスの状態を一覧表で表示するヘルスチェックウインドウを表示します。このウインドウはツリー表示下部の「ミニヘルス」ウインドウをダブルクリックすることで表示されます。ヘルスチェックウインドウのタブまたはタイトルバーには、左端にアイコンが表示されます。

(5) ヘルスチェックウインドウの背景色とアイコン表示

ヘルスチェックウインドウの背景色の違いは次のような意味を持ちます。

項目	DVR 名称	HDD	録画	予約録画	バックアップ	ファン		温度		イベント		
						システム	CPU	システム	CPU	アラーム	モーション	ビデオロス
1	社内X05K											
2	社内X03K											
3	社内X04K											
4	社内HD4K											
5	環境HD4K											
6	環境X04K											
7	大機HD4K											
8	Interlich_X04K											

① 白色

デバイスに正常にネットワーク接続されている状態を示します。

② 水色












過去にデバイスとのネットワーク接続が切れたが、現在は復旧している状態を示します。







③ ピンク色







デバイスとのネットワーク接続が、現在切断されている状態を示します。










また、各項目が示す意味は、下表の通りです。

項目	説明
項目	登録されているデバイスの通し番号をツリー表示の順で表示します。
DVR 名称	DVR, NVR, IP カメラに付けられた名称を表示します。

HDD	HDD の状態を表示します。	
		HDD の状態が正常であることを示します。
		HDD で過去にエラーが発生したが、現在は復旧していることを示します。
		HDD にエラーが発生していることを示します。
録画	DVR, NVR の録画ボタンの状態を示します。	
	<div> <p><注意></p> <p>この表示は DVR, NVR の 録画 ボタンの状態を示すもので、実際に録画が実行されているかどうかを示すものではありません。(イベント録画でイベントが発生していない状態も「録画中」と解釈)</p> </div>	
		EMS2 起動時から既に録画が開始されている状態を示します。
		過去に録画が停止されたが、現在は録画が開始されている状態を示します。
予約録画	予約録画の状態を示します。このアイコン表示の「開始」と「停止」の概念は、DVR, NVR の機種毎に異なります。	
	PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズ	
	停止	予約録画 ボタンが押されていない状態。
	開始	予約録画 ボタンが押されている状態。
	PDR-X5100, PDR-XM4000, PNR-HD4000 シリーズ	
	停止	録画 ボタンが押されていないか、押されている場合でも「録画」メニューの「設定」タブで「予約録画使用」が「OFF」の状態。
	開始	録画 ボタンが押されている状態で、かつ「録画」メニューの「設定」タブで「予約録画使用」が「ON」の状態。
	<div> <p><注意></p> <p>この表示は DVR, NVR の 予約録画 ボタンまたは設定の状態を示すもので、実際に録画が実行されているかどうかを示すものではありません。</p> <p>(例：予約録画で録画を実行しない時間帯も「予約録画が開始されている」と解釈)</p> </div>	
		EMS2 起動時から既に予約録画が開始されている状態を示します。
		過去に予約録画が停止されたが、現在は予約録画が開始されている状態を示します。
		予約録画が停止されている状態を示します。
バックアップ		EMS2 起動時から既にバックアップ中の状態を示します。
		過去にバックアップが実行されていない状態だったが、現在はバックアップ中の状態を示します。
		バックアップが実行されていない状態を示します。

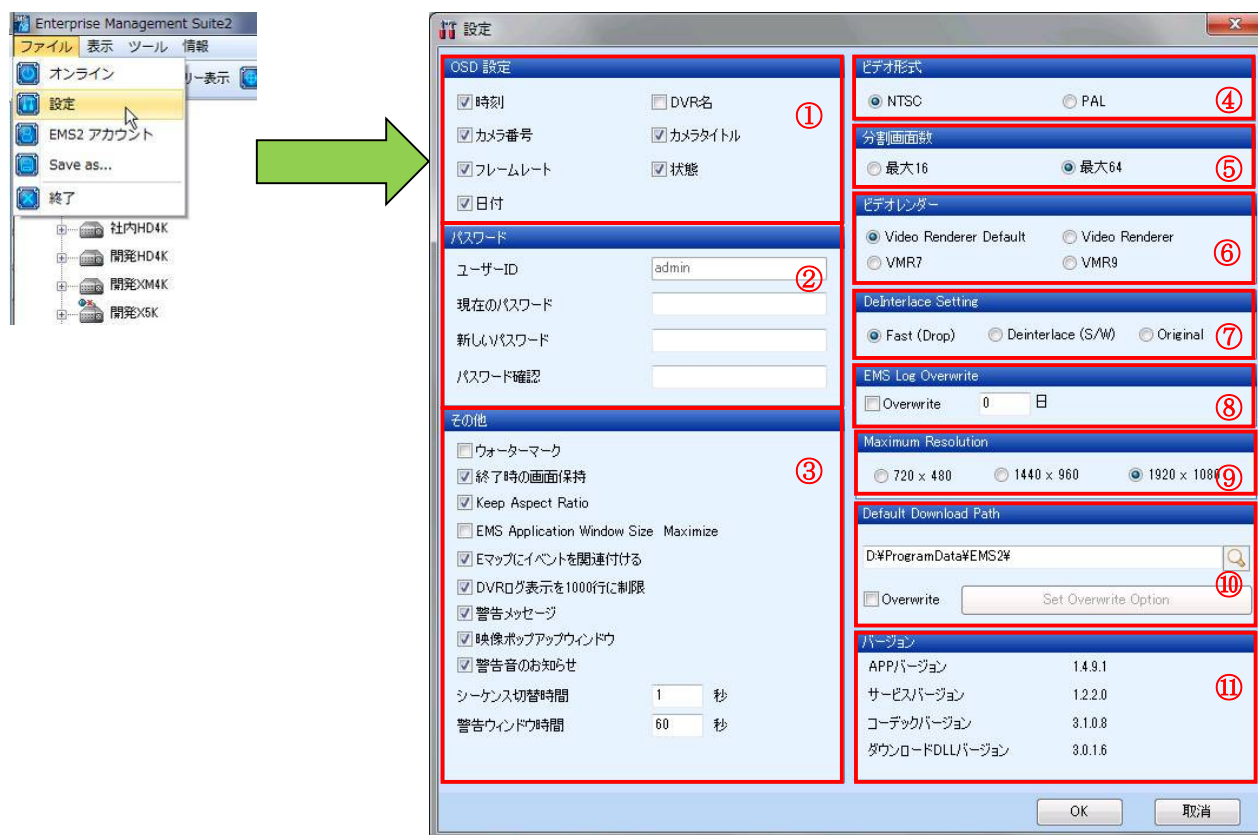
ファン	システム	装置のケースファンの状態を示します。アイコンが表示されていない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
		<情報> 2014 年 7 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品はありません。従って、通常この欄にアイコンが表示されることはありません。	
			EMS2 起動時からケースファンは正常な状態であることを示します。
			過去にケースファンが停止したが、現在は正常に戻っていることを示します。
			ケースファンが停止していることを示します。
	CPU	装置の CPU ファンの状態を示します。アイコンが表示されていない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
		<情報> 2014 年 7 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品はありません。従って、通常この欄にアイコンが表示されることはありません。	
			EMS2 起動時から CPU ファンが正常な状態であることを示します。
			過去に CPU ファンが停止したが、現在は正常に戻っていることを示します。
			CPU ファンが停止していることを示します。

温度	システム	装置の内部温度の状態を示します。アイコンが表示されない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
		<情報> 2014 年 7 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品は、PDR-X5100 シリーズのみです。	
			EMS2 起動時から装置の温度が正常な状態であることを示します。
			過去に装置の温度が異常な状態だったが、現在は正常に戻っていることを示します。
			装置の温度が異常な状態であることを示します。
	CPU	装置の CPU 温度の状態を示します。アイコンが表示されない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
		<情報> 2014 年 7 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品はありません。従って、通常この欄にアイコンが表示されることはありません。	
			EMS2 起動時から CPU の温度が正常な状態であることを示します。
			過去に CPU の温度が異常な状態だったが、現在は正常に戻っていることを示します。
			CPU の温度が異常な状態であることを示します。

イベント	アラーム	DVR または NVR のイベント録画またはアラーム録画の状態を示します。このアイコン表示の概念は、DVR, NVR の機種毎に異なります。	
		PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズ	
		アラーム録画の状態を示します。モーション録画は含まれません。	
		PDR-X5100, PDR-XM4000, PNR-HD4000 シリーズ	
		アラーム, モーション, ビデオロスによる、全てのイベントによるイベント録画の状態を示します。	
			EMS2 起動時から、一度もイベント／アラーム録画が実行されていないことを示します。
			過去に、イベント／アラーム録画が実行されたが、現在は実行されていない状態であることを示します。
			現在、イベント／アラーム録画中のチャンネルがあることを示します。
	モーション	DVR または NVR のモーション検出の状態を示します。	
			EMS 起動時から、一度もモーションが検出されていないことを示します。 <注意> PDR-X5100, PDR-XM4000 シリーズの場合は、過去にモーションが検出されて現在検出されていない場合にもこの表示になります。
			過去に、モーションが検出されたが、現在は検出されていない事示します。 <注意> このアイコンは、PDR-X5100, PDR-XM4000 シリーズでは表示されません。
			現在、モーションを検出していることを示します。
	ビデオロス	DVR または NVR のビデオロスの状態を示します。	
			EMS 起動時から、一度もビデオロスが発生していないことを示します。
			過去に、ビデオロスが発生したが、現在は復旧していることを示します。
			現在、ビデオロスが発生しているチャンネルがあることを示します。

2. EMS2 の設定

EMS2 ソフトウェアの設定は、「ファイル」メニューから「設定」に入ります。



① OSD 設定

それぞれのカメラの「時刻」「DVR 名」「カメラ番号」「カメラタイトル」「フレームレート」「状態」「日付」の情報をオンスクリーン表示するかしないかを選択します。

② パスワード



EMS の起動パスワードを変更する場合に使用します。

項目	説明
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。(初期値 “Q”)
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため、新しいパスワードを再度入力します。

<注意>

このパスワードは、EMS を起動する時に入力するパスワードのことです。DVR, NVR, IP カメラ等のデバイス用のパスワードのことではありません。

③ その他

項目	説明
ウォーターマーク	電子透かしをチェックするように設定します。
終了時の画面保持	このチェックボックスをチェックすると、EMS2 終了時に現在のメインウィンドウの状態を保存し、再起動時に元の状態に戻します。
EMS Application Window Size Maximize	このチェックボックスをチェックすると、EMS2 起動時にウィンドウサイズを最大化した状態で起動します。
E マップイベントを関連付ける	イベント発生時に、他の E マップにリンクされた E マップアイコンを点滅させることが出来ます。
インタレース解除	飛越走査映像の表示を改善します。
DVR ログ表示を 1000 行に制限	DVR ログリストで、一度の操作で検索できる行数を 1000 行に制限します。
警告メッセージ	<p>イベントアクション機能で、イベント発生時等に警告メッセージを表示させる場合にチェックします。</p> 
映像ポップアップウィンドウ	<p>イベントアクション機能で、イベント発生時等にライブ映像のポップアップウィンドウを表示させる場合にチェックします。</p> 
警告音のお知らせ	音による警告を有効／無効を切り替えます。
シーケンス切替時間	<p>シーケンス機能のタブ自動切替表示時の画面切替時間を指定します。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この設定では Channel Sequence 機能の切替時間は変更できません。
警告ウィンドウ時間	警告メッセージの表示間隔を指定します。

<注意>

- 初期設定では DVR ログは 1000 行ずつ検索されますが、「DVR ログ表示を 1000 行に制限」のチェックを外すことで、一度の操作で全行を検索できるように設定することもできます。しかし、その場合ログの件数が多い場合の待ち時間が極めて長くなることもあり、EMS2 ソフトウェアのフリーズと勘違いする場合がありますのでご注意ください。

④ ビデオ形式

接続するデバイスの映像信号方式を指定します。日本市場向けの機器を接続する場合「NTSC」を選択します。

⑤ 分割画面数

分割画面表示の、最大分割数を選択します。

⑥ ビデオレンダー

初期設定では「Video Render Default」に設定されています。「Video Render Default」でライブ及び再生映像が正しく表示されない場合は「Video Render」「VMR 9」「VMR 7」を順に試して、タブ表示・ウインドウ表示・全画面表示が全て正しく表示される状態に設定してください。

⑦ DeInterlace Setting

映像のインタレース解除（飛越走査の順次走査化）の方法を以下の選択肢から選択できます。PCの処理能力と映像に対する要求を考慮して設定してください。


選択肢	説明
Fast (Drop)	飛越走査映像の片方のフィールドのみを表示することで、動きのある映像の輪郭がギザギザに表示される現象を回避します。映像処理に伴う PC への負担は軽くなるので、処理能力の低い PC でも比較的スムーズな動きで表示できる長所がありますが、垂直解像度が低下する短所があります。
Deinterlace (S/W)	動きのある飛越走査映像でも、ソフトウェアによる画像処理によって輪郭がギザギザに見えないように表示します。被写体に動きがない部分では高い垂直解像度が得られ、動きのある部分でも被写体の輪郭がギザギザに見えないことを両立できる長所がありますが、処理能力の低い PC では負担が重くなる短所があります。
Original	映像を加工せずにそのまま表示します。PC への負担は軽くなるので、処理能力の低い PC でも比較的スムーズな動きで表示でき垂直解像度も低下しない長所がありますが、動きのある映像では輪郭がギザギザに見える短所があります。

<情報>

- PC の処理能力が高い場合は「Deinterlace (S/W)」に設定することをお勧めします。
- PC の処理能力が不十分で「Deinterlace (S/W)」の設定では十分なフレーム数での表示が困難な場合は以下のように設定してください。
 動きのある映像を見ることが多い場合 → 「Fast (Drop)」
 動きのない映像を詳細に見ることが多い場合 → 「Original」

⑧ Default Download Path

各デバイスの“Download Path”の初期値を指定します。ここで指定したパスは、デバイスマネージャーでデバイスを追加するときに“Download Path”の初期値として引用されます。

項目	説明
ダウンロードフォルダ	ダウンロード及び予約バックアップに使用する保存先フォルダを指定します。
Overwrite	<p>上書き設定をするには“Overwrite”ボックスをチェックし、Set Overwrite Option ボタンをクリックします。 “Set Overwrite option” ウィンドウが表示されます。 このウィンドウでは、スライダーで調整することによってディスクの使用量を制限できます。</p> 

<注意>

- 上書きされるデータが書き込まれた後に既存のデータが削除されます。従って、制限容量を一時的に多少超える場合があります。
- バックアップ先のドライブには、OS のシステムドライブとは別の物理ドライブを使用することを強くお勧めします。
- “Used Size”（使用量）は、バックアップデータと同じドライブを使用するその他のデータの合計容量で計測されています。従って、他のデータ量が増加した場合、“Overwrite Size”（制限容量）の中でバックアップ可能な容量は減少することになりますので、容量管理には十分ご注意ください。

⑨ バージョン

EMS2 のバージョン番号を表示します。弊社から最新のソフトウェアを供給する場合のバージョン番号は、通常「APP バージョンの」バージョン番号で発表致します。

3. EMS2 アカウント

EMS を操作することが出来るユーザーを管理します。このユーザーは Windows のユーザーや DVR のユーザーとは独立して管理されています。このユーザーは最大 20 人まで増やすことが出来ます。

基本的なユーザー追加の手順は、**追加** ボタンをクリックした後、「ユーザー情報」「使用 DVR リスト」「権限」を設定してから **適用** ボタンで設定を保存します。



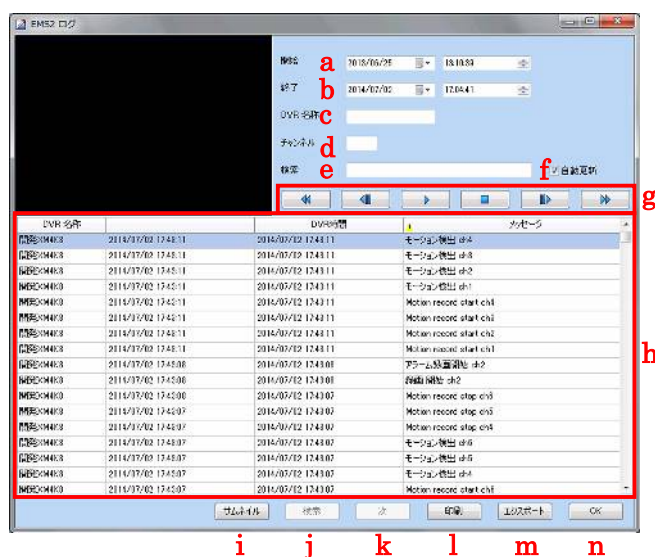
番号	項目	説明
①	ユーザーリスト	EMS2 に登録されているユーザーのリストを表示します。ユーザーを選択すると、詳細情報が表示されます。
②	ユーザー情報	選択したユーザーの ID とパスワードを変更する場合に使用します。
③	使用 DVR リスト	選択したユーザーに対してアクセスを許可するデバイスを選択します。
④	権限	選択したユーザーに対して操作を許可する EMS の機能を選択します。
⑤	追加 ボタン	新しいユーザーを追加します。
⑥	削除 ボタン	選択したユーザーを削除します。
⑦	適用 ボタン	選択したユーザーの変更を保存します。
⑧	OK ボタン	選択したユーザーの変更を保存してウインドウを閉じます。
⑨	取消 ボタン	選択したユーザーの変更を保存せずにウインドウを閉じます。

<注意>

最大ユーザー数には管理者“admin”が含まれていますので、このウインドウで登録可能なユーザー数は最大 19 です。

4. EMS2 ログ

EMS2 が実行されている間の全てのイベントのログの中から最大 1000 件までを表示します。



項目		説明
a	開始	ログを取得する開始日時を指定します。
b	終了	ログを取得する終了日時を指定します。
c	DVR 名称	過去の EMS2 ログを検索する場合に DVR 名称の全部または一部の文字列を指定することで、DVR 名称にこの文字列が含まれる行を抽出することが出来ます。
d	チャンネル	過去のログを検索する場合に、チャンネル番号を入力することで、特定のチャンネルで起きたイベントの行を抽出することが出来ます。
e	検索	過去のログを検索する場合とリアルタイムのログを表示する場合に、「メッセージ」の抽出条件となる文字列を指定します。
f	自動更新	EMS2 ログの表示モードを切り替えます。 チェックを外した状態では、過去のログを検索します。 チェックした状態ではリアルタイムのログを表示します。 リアルタイムのログを表示している状態からチェックを外すと、表示を停止することが出来ます。
g	再生コントロールボタン	ログリストで選択されている行の録画映像を再生する場合に、再生方向や速さを指定します。
h	ログリスト	過去のまたはリアルタイムのログリストを表示します。また、特定の行をマウスでクリックすると反転表示になり、再生コントロールボタンを利用して該当する日時の該当するチャンネルの映像を再生することが出来るようになります。

i	サムネイル ボタン レポート ボタン	<p>このボタンはログリストの検索と表示の方法をサムネイルとレポートを交互に切替えます。 レポート表示度は通常のログを検索表示します。 サムネイル表示では、イベントアクションで記録されたスナップショットを、検索表示します。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● このボタンの表示は、現在の状態ではなく、ボタンをクリックして切り替えた後の状態を示しています。 従ってボタンにサムネイルと表示されているときは通常のログ検索の状態、レポートと表示されているときにはサムネイルを検索する状態になっていることを意味しています。
j	検索 ボタン	ログの検索を開始します。表示対象は最初の 1000 行です。
k	次 ボタン	検索結果のログが 1000 行を超える場合に、検索結果を 1000 行ずつ追加します。
l	印刷 ボタン	検索されたログリストを印刷します。
m	エクスポート ボタン	<p>検索されたログリストをテキストファイルとしてエクスポートします。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● サムネイルログをエクスポートした場合、サムネイルの画像は出力されません。
n	OK ボタン	ログウインドウを閉じます。

<注意>

- EMS2 ログウインドウで再生可能な映像は、DVR または NVR でイベント・アラーム・モーション録画されたものに限られます。例えばモーション検出によるイベント録画開始のログレコードから再生することは出来ませんが、モーションを検出したログのレコードから再生させることは出来ません。
- イベント・アラーム・モーションが検出されているとしても、それによって録画が実行されていない場合、たとえ同じ時刻に連続録画の映像が存在したとしても、それを再生することは出来ません。
- EMS2 ログは、システムドライブが C ドライブの場合、以下のフォルダに保存されます。
“C:\Users\Public\Documents\EMS2\Log”
- サムネイルは、システムドライブが C ドライブの場合、以下のフォルダに保存されます。
“C:\Users\Public\Documents\EMS2\SnapShot”

V DVR, NVR, IP カメラの制御

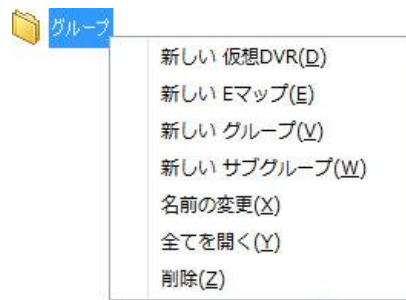
1. デバイスリストの右クリックメニュー

デバイスリストの各デバイスの右クリックメニューには次の機能があります。

1. グループ

グループアイコンには次のメニューがあります。

メニュー	説明
新しい仮想 DVR(D)	選択したグループ内に仮想 DVR を作成します。48 ページ参照。
新しい E マップ(E)	選択したグループ内に E マップを作成します。68 ページ参照。
新しいグループ(Y)	選択したグループと同じ階層にグループを作成します。
新しいサブグループ(W)	選択したグループ内にサブグループを作成します。
名前の変更(X)	選択したグループの名称を変更します。
全て開く(Y)	<p>選択したグループ内の仮想 DVR を含む全てのデバイスのライブ映像と E マップをメインウィンドウにタブ表示します。</p> <div> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示できるタブ数の上限は以下のようになります。 <p>ライブ・仮想 DVR : 8</p> <p>E マ ッ プ : 4</p> <p>表示できるタブ数は PC のリソース状況により、少なくなる場合があります。</p> </div>
削除(Z)	<p>選択したグループをデバイスリストから削除します。</p> <div> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループを削除するには、グループ内の全てのアイコンが削除されていなければなりません。 </div>



2. DVR または NVR

DVR, NVR アイコンには、次のメニューがあります。

メニュー	説明
ライブ映像(P)	選択した DVR, NVR に入力されている現在の映像をメインウィンドウに表示します。41 ページ参照
リモート検索(Q)	選択した DVR, NVR 内の HDD に録画された映像をグラフで検索し、再生またはダウンロードするための「リモート検索」ウィンドウを開きます。49 ページ参照
Go to search	選択した DVR, NVR 内の HDD に録画された映像を日時の範囲を数値で入力して検索し、再生またはダウンロードするための「Go to search」ウィンドウを開きます。53 ページ参照
ローカル検索(R)	選択した DVR, NVR から EMS2 がインストールされている PC にダウンロードされた映像を検索・再生・ファイルに保存するための「ローカル検索」ウィンドウを開きます。55 ページ参照
プロパティ(S)	選択した DVR, NVR のシステム情報を表示します。56 ページ参照
ログ(T)	選択した DVR, NVR のログを表示します。59 ページ参照
設定(U)	選択した DVR, NVR の設定メニューを遠隔操作します。60 ページ参照
イベントアクション(U)	選択した DVR, NVR のイベントアクションを設定します。65 ページ参照
制御(W)	選択した DVR, NVR の録画開始/停止、予約録画開始/停止、ブザー鳴動/停止、設定のエクスポート/インポート、ファームウェア・アップデートを遠隔制御します。61 ページ参照
削除(X)	選択した DVR, NVR をデバイスリストから削除します。
名前の変更(Y)	選択した DVR, NVR の EMS2 上での登録名を変更します。
グループ移動(Z)	選択した DVR, NVR を別のグループ内に移動します。

社内M4K

ライブ映像(P)
リモート検索(Q)
Go to search
ローカル検索(R)
プロパティ(S)
ログ(T)
設定(U)
イベントアクション(V)
制御(W) ▶
削除(X)
名前の変更(Y)
グループ移動(Z) ▶

3. 仮想 DVR

仮想 DVR アイコンには、次のメニューがあります。

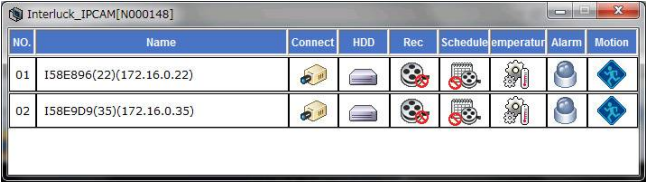
メニュー	説明
ライブ映像(W)	選択した仮想 DVR に含まれている DVR, NVR に入力されている現在の映像をメインウィンドウに表示します。49 ページ参照
名前の変更(X)	選択した仮想 DVR の EMS2 上での登録名を変更します。
削除(Y)	選択した仮想 DVR をデバイスリストから削除します。
グループ移動(Z)	選択した仮想 DVR を別のグループ内に移動します。

全DVR/NVR

ライブ映像(W)
名前の変更(X)
削除(Y)
グループ移動(Z) ▶

4. IP カメラグループ

IP カメラアイコンには、次のメニューがあります。

メニュー	説明
ライブ映像(S)	選択した IP カメラグループに含まれている IP カメラの現在の映像をメインウインドウに表示します。41 ページ参照
ローカル検索(T)	選択した IP カメラグループに含まれる IP カメラから EMS2 がインストールされている PC に既にダウンロードされた映像を検索・再生・ファイルに保存するための「ローカル検索」ウインドウを開きます。55 ページ参照
イベントアクション(U)	選択した IP カメラグループのイベントアクションを設定します。65 ページ参照
制御(V)	選択した IP カメラグループの EMS2 を実行している PC での録画開始／停止を遠隔制御します。61 ページ参照
削除(W)	選択した IP カメラグループをデバイスリストから削除します。
名前の変更(X)	選択した IP カメラグループの EMS2 上での登録名を変更します。
ヘルスチェック(Y)	選択した IP カメラグループに含まれる IP カメラの状態を示すウインドウを表示します。 
グループ移動(Z)	選択した IP カメラグループを別のグループ内に移動します。

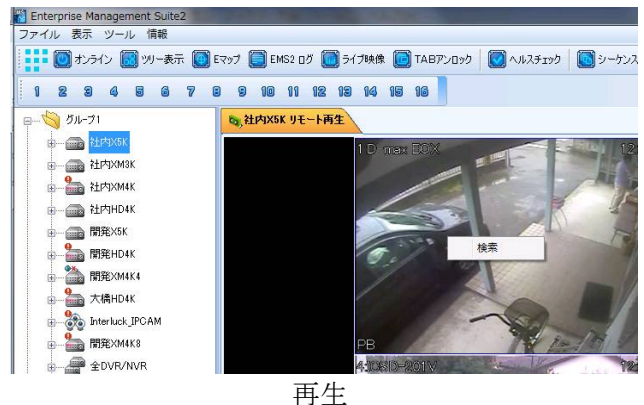
5. E マップ

メニュー	説明
開く(W)	選択した E マップをメインウインドウに表示します。68 ページ参照
名前の変更(X)	選択した E マップの名称を変更します。
削除(Y)	選択した E マップを削除します。
グループ移動(Z)	選択した E マップを別のグループ内に移動します。

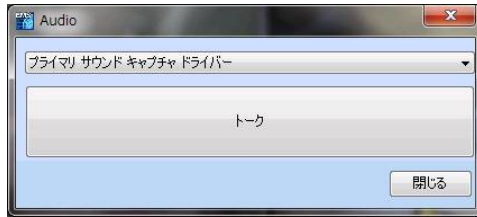
2. ライブ／再生ウィンドウの右クリックメニュー



ライブ






再生

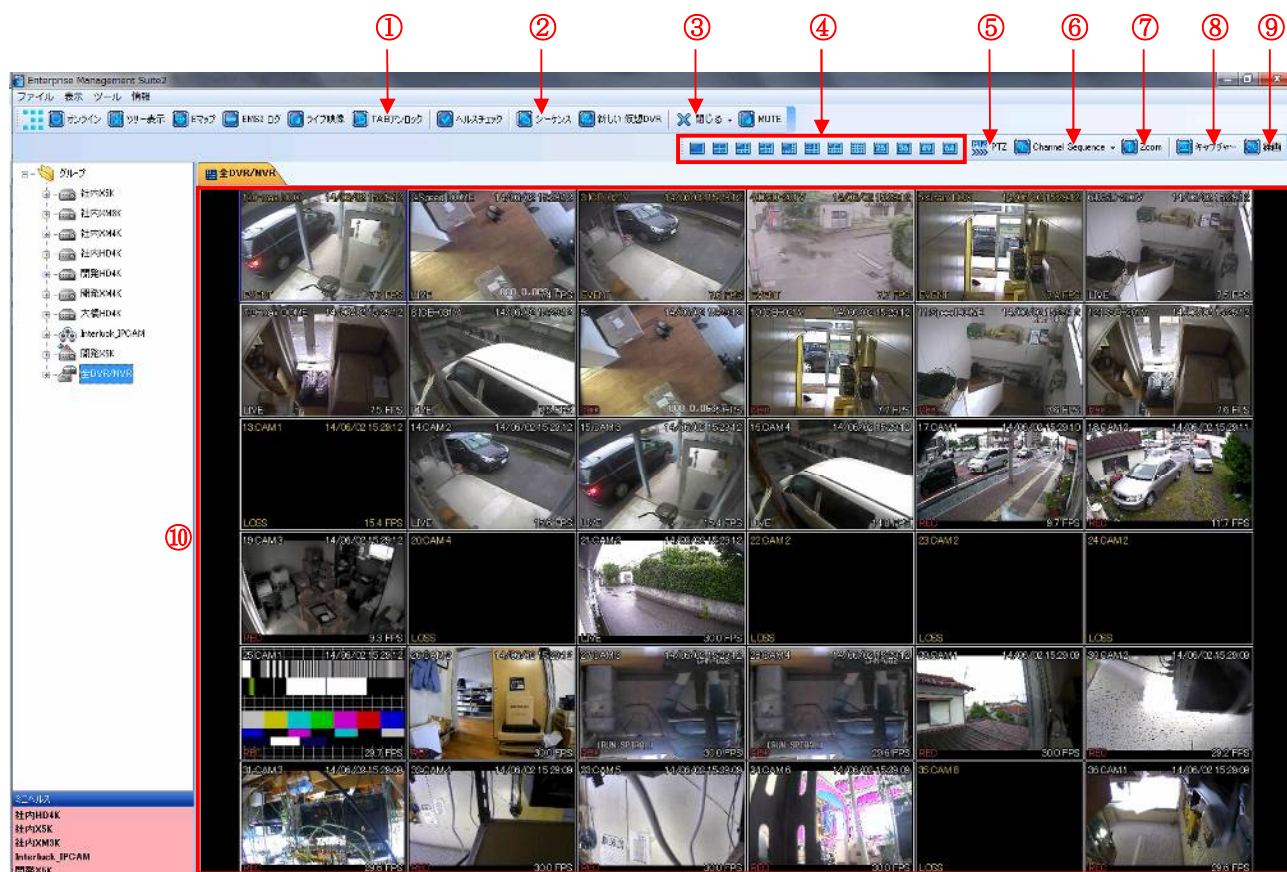
項目	説明
リモート検索	現在メインウィンドウに表示している DVR または NVR に内蔵 HDD を検索するためのウィンドウを開きます。49 ページ参照
PTZ 制御	PTZ ウィンドウの表示と非表示を切り替えます。ツールバーの PTZ ボタンと同じ動作です。43 ページ参照
Audiocommunication	<p>DVR または NVR に対する双方向通話機能を利用するための「Audio」ウィンドウを開きます。</p>  <p>上側のドロップダウンリストで使用する PC のオーディオドライバを選択します。</p> <p>下側の トーク ボタンは、PC に繋いだマイクに向かって話す時にマウスの左ボタンを押しながら話します。(トランシーバーの「送話 (PTT)」ボタンのように使います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、パソコンのサウンド関連の設定を正しく設定しなければご利用いただくことは出来ません。パソコンのサウンド関連の設定画面は、パソコンの機種毎に大きく異なります。お使いのパソコンのマニュアルを見るなどして、録音デバイスと再生デバイスの調整を正しく行ってください。 </div>
検索	<p>現在メインウィンドウに表示している再生対象の再検索を実行します。</p> <p>DVR/NVR の遠隔再生中の場合→リモート検索。49 ページ参照</p> <p>PC のファイルを再生中の場合→ローカル検索。55 ページ参照</p>

3. ライブ監視／再生共通

ライブモードは、個別の DVR / NVR/仮想 DVR 及び IP カメラを表示できます。





1. 個別の DVR / NVR/IP カメラグループ

DVR / NVR アイコン  または IP カメラアイコン  をダブルクリック、あるいはこれらのデバイスを選択した状態で  ライブ映像 ボタンをクリックするか右クリックメニューで「ライブ映像(P)」を選択することで、ライブ監視映像が表示されます。



① TAB アンロック／ロック及びドッキング／アンドッキング

EMS2 では、メインウインドウにタブ形式で表示される「ライブ」「再生」「E マップ」「ヘルスチェック」等のウインドウを、別のウインドウに分離したり元のタブ形式に統合したりすることができます。このボタンは1回クリックする毎に「ロック」と「アンロック」の状態が切り替わり、次のような動作になります。



ボタンの状態	説明
 TABアンロック	タブ表示されているメインウインドウをドラッグ&ドロップで別ウインドウ表示に切り替えることが出来る状態になっていることを示します。
 TABロック	タブ表示されているメインウインドウをドラッグ&ドロップで別ウインドウ表示に切り替えることが出来ない状態（禁止）になっていることを示します。
 ドッキング	ウインドウ表示されているメインウインドウをドラッグ&ドロップでタブ表示に切り替えることが出来る状態になっていることを示します。
 アンドッキング	ウインドウ表示されているメインウインドウをドラッグ&ドロップでタブ表示に切り替えることが出来ない（禁止）状態になっていることを示します。

<情報>

メインウインドウを独立したウインドウで表示させた状態でウインドウを移動したい場合は、アンドッキング状態にしてから移動させてください。

② シーケンス

シーケンス機能はメインウインドウのタブを自動切換表示します。シーケンスボタンは1回クリックする毎に動作と停止が交互に切り替わります。

ボタン	説明
 シーケンス	タブを自動切換する機能が停止している状態を示します。
 シーケンス	タブを自動切換する機能が動作している状態を示します。

下図の例では、「社内 X5K」→「大橋 HD4K」→「DVR ヘルスチェック」の順に切り替わり、この動作を繰り返します。






<情報>

- 自動切換時間は、メニューの **ファイル** → **設定** 内の「シーケンス切替時間」で設定します。
30 ページ参照

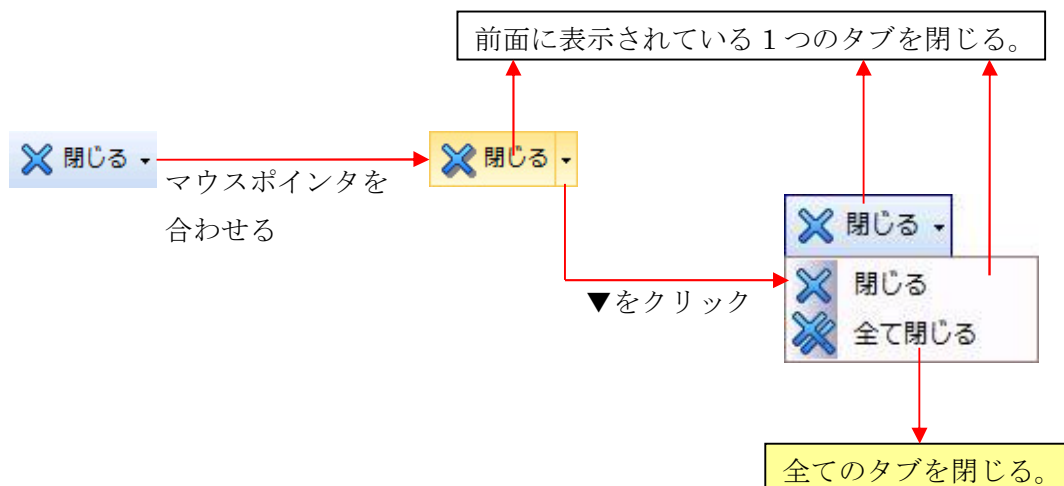
③ 閉じる

メインウインドウに表示されているタブを閉じます。このボタンは、操作方法によって前面に表示されている1つのタブだけを閉じることと、全てのタブを閉じることが出来ます。

ボタン	説明
 閉じる	前面に表示されている1つのタブを閉じます。
 閉じる	
 全て閉じる	全てのタブを閉じます。

通常は、前面に表示されている1つのタブを閉じるためのボタンだけが表示されています。全てのタブを閉じる場合は、ボタン右側の▼をクリックして、表示された **全て閉じる** ボタンをクリック

します。



④ 画面分割オプション

ライブ及び再生ウインドウで、分割表示の分割数を指定します。この分割数は DVR や NVR のチャンネル数に関係なく指定することが出来ます。

ボタン	説明	ボタン	説明	ボタン	説明
	1 画面表示		8 分割表示		25 分割表示
	4 分割表示		9 分割表示		36 分割表示
	6 分割表示		10 分割表示		49 分割表示
	7 分割表示		16 分割表示		64 分割表示

⑤ PTZ

DVR に PTZ (パン・チルト・ズーム) カメラが接続されている場合、ライブウインドウ (DVR, NVR, 仮想 DVR) が表示されている状態で PTZ ボタンをクリックすると、PTZ コントロールボックスが表示されます。

a. パン・チルト

右図のドーナツ状の部分にある 8 個のボタンで、PTZ カメラを上下左右及び斜め方向に動かします。

b. ズーム

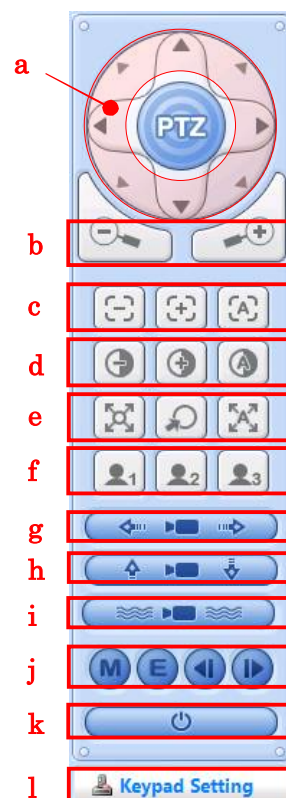
カメラのズームを制御します。

	レンズの倍率を上げます。(拡大)
	レンズの倍率を下げます。(縮小)

c. フォーカス




レンズのフォーカス (ピント : 焦点) を制御します。

	レンズの焦点を遠距離側に動かします。
	レンズの焦点を近距離側に動かします。
	オートフォーカス (自動焦点) にします。







d. アイリス

レンズのアイリス（絞り）を制御します。


	アイリス（絞り）を開く側に動かします。
	アイリス（絞り）を閉じる側に動かします。
	オートアイリス（自動絞り）にします。

e. プリセット


プリセットの登録と呼出をします。

	プリセットを登録します。このボタンをクリックした後に、表示されたウインドウにプリセット番号を入力し、 OK ボタンをクリックします。	
	プリセットと呼出します。このボタンをクリックした後に、表示されたウインドウにプリセット番号を入力し、 OK ボタンをクリックします。	
	カメラのツアー機能を実行します。	


f. 特殊機能

	特殊機能ボタンは、PTZ カメラの各機種固有の機能を制御するために用意されている予備のボタンです。（通常このボタンはご利用いただけません）
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------


g. オートパン

	オートパン機能を実行します。
-------------------------------------------------------------------------------------	----------------





h. オートチルト

	オートチルト機能を実行します。
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------


i. パターン

	パターンを実行します。
-------------------------------------------------------------------------------------	-------------

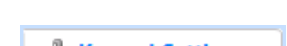
j. その他の機能ボタン

	カメラの OSD メニューを表示または終了します。
	一部のカメラで、OSD メニューを終了します。
	パン・チルトの速度を下げます。
	パン・チルトの速度を上げます。

k. パン・チルト電源

	パン・チルトのスタンバイまたは PTZ カメラのライトを ON / OFF します。
-------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

l. キーパッド設定



	<予定機能> 将来予定されている新機能に関するボタンです。現在は操作しないでください。
-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

<重要>


- PTZ カメラは、DVR とは異なるメーカーが製造しております。機能や通信プロトコルはカメラのメーカーや機種毎に異なります。従って、EMS2, DVR, PTZ カメラそれぞれの機能の中で全ての機器間で互換性のある機能だけが利用できますので、多くの利用できない機能が存在することを容認した上で、お客様の責任においてご利用ください。
- PTZ 制御では、設定やボタン操作によって予期しない動作をしたり、カメラが応答しなくなったりする場合があります。(カメラが応答しなくなった場合は、カメラの電源切→入を試みてください。)

⑥ Channel Sequence (チャンネルシーケンス)

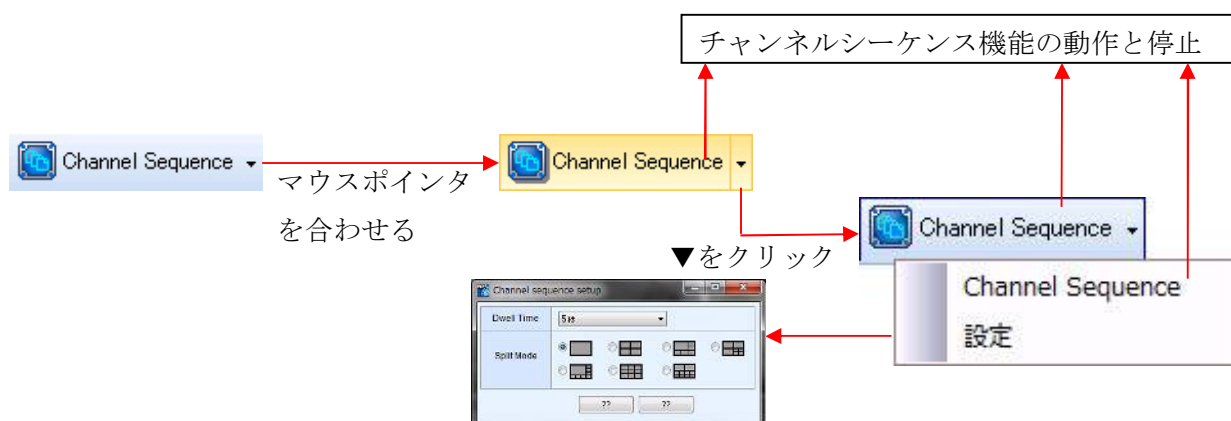
チャンネルシーケンス機能は、1つの DVR, NVR または仮想 DVR のライブ画面の中で、チャンネルを自動切換する機能です。チャンネルシーケンスボタンは1回クリックする毎に動作と停止が交互に切り替わります。

ボタン	説明
 Channel Sequence	チャンネルを自動切換する機能が停止している状態を示します。
 Channel Sequence	チャンネルを自動切換する機能が動作している状態を示します。

また、このボタンは、操作方法によってチャンネルシーケンスを動作と停止をすることと、チャンネルシーケンス機能の設定をすることができます。

ボタン	説明
 Channel Sequence	チャンネルシーケンス機能の動作と停止を切り替えます。
Channel Sequence	
設定	チャンネルシーケンス機能の設定ウインドウを開きます。


設定ウインドウを開く場合は、ボタン右側の▼をクリックして、表示された **設定** ボタンをクリックします。

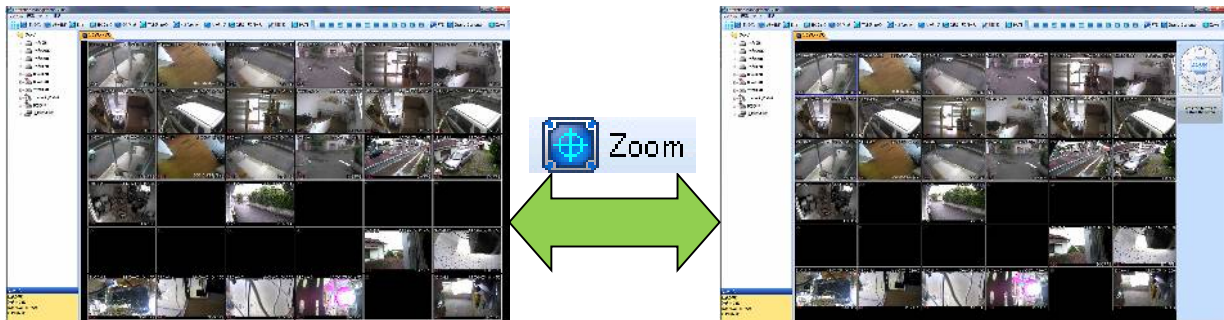


チャンネルシーケンス設定ウインドウには、下表のような設定があります。

項目	説明
Dwell Time	自動切換時の停止時間を 3～30 秒の範囲から 1 秒刻みで指定します。
Split Mode	自動切換時の画面の分割方法を、1 画面、4 分割、6 分割、7 分割、8 分割、9 分割、10 分割から選択できます。

⑦ Zoom (ズーム)

 Zoom ボタンは、クリックする毎にズームウインドウの表示と非表示を切り替えます。




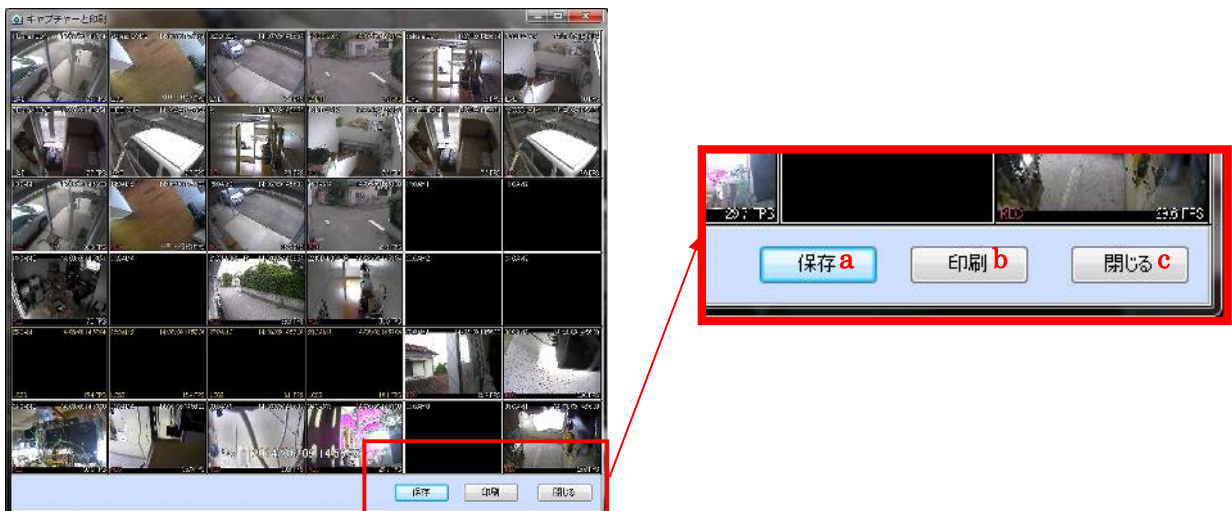
ズームウインドウの操作は次の表に示します。

ボタン		説明
a	上下左右移動	拡大したウインドウ内を上下左右斜め方向に移動することができます。
b	ズームダウン	ウインドウを拡大します。
c	ズームアップ	ウインドウを縮小します。



⑧ キャプチャー

 キャプチャー ボタンは現在の表示している映像を静止画としてファイルに保存または印刷するための「キャプチャーと印刷」ウインドウを開きます。





ボタン		説明
a	保存	「キャプチャーと印刷」ウインドウの画像を“bmp”または“jpg”形式のファイルで保存します。
b	印刷	「キャプチャーと印刷」ウインドウの画像を印刷します。
c	閉じる	「キャプチャーと印刷」ウインドウを閉じます。

<注意>

- ファイルに保存される画像の解像度は、録画解像度とは異なる解像度で保存されます。

⑨ 録画

DVR, NVR, IP カメラの映像を EMS2 が動作しているパソコンに動画で録画することが出来ます。
録画ボタンは 1 回クリックする毎に録画と停止が交互に切り替えます。

ボタン	説明
 録画	録画が実行されていない状態を示します。
 録画	録画中の状態を示します。

<注意>

- このボタンは DVR, NVR 本体の録画の開始と停止を制御する機能ではありません。
- このボタンで録画されるデバイスとチャンネルは、このボタンのあるタブまたはウインドウで表示されているデバイスのチャンネルのみです。
- このボタンで開始された録画は、ボタンのあるウインドウを閉じると終了します。
- 録画データは、デバイスマネージャーで設定された各デバイスの “Download Path” の下位フォルダに複数の階層で保存されます。

⑩ メインウインドウ

メインウインドウには、次のようなオンスクリーン（字幕）表示があります。



項目	説明
a	カメラ番号 カメラ名称 カメラ番号と DVR や NVR に設定されたカメラ名称（カメラタイトル）を表示します。
b	日時 表示されている画像が撮影された日時を示します。 <注意> ● 日時は DVR または NVR の時計が記録した日時です。IP カメラの日時ではありません。
c	ステータス 現在のチャンネルの状態を示します。 R E C : ノーマル（連続）録画中 W A I T : 初期接続中 L O S S : ビデオロス C L O S E : DVR または NVR の接続切れ E V E N T : イベント録画中 A L A R M : アラーム録画中 M O T I O N : モーション録画中 P B : 再生中 L I V E : ライブ監視中（録画されていない状態）

d	フレームレート	1秒間に何枚の画像が表示されているかを示します。
---	---------	--------------------------

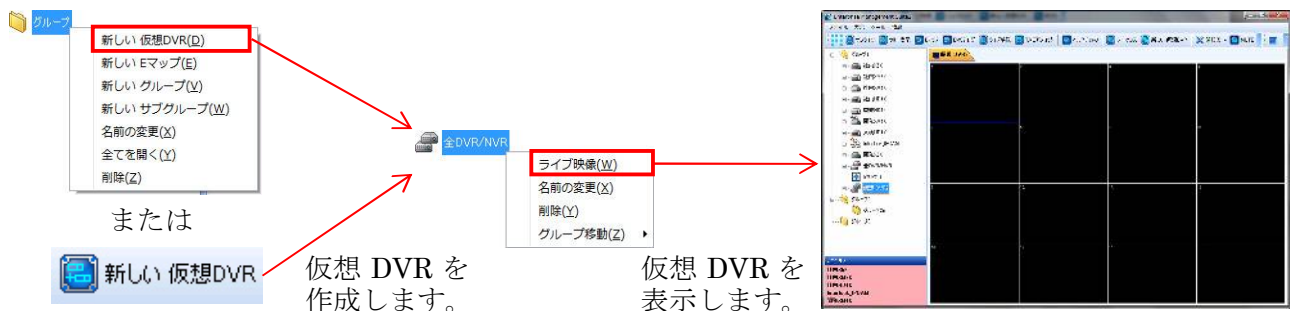
2. 仮想 DVR

(1) 仮想 DVR とは

仮想 DVR とは、複数の DVR/NVR または IP カメラグループのチャンネルから好みのチャンネルのライブ映像を選択して、1つのウィンドウ内に最大 64 画面で表示する機能です。

(2) 仮想 DVR の追加

仮想 DVR はデバイスリストのグループ内に右クリックメニューまたはツールバーのボタンで追加します。

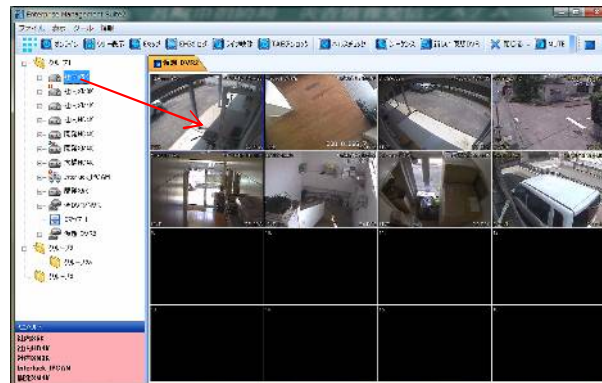


(3) 仮想 DVR へのデバイスの追加

仮想 DVR にチャンネルを追加するには、デバイス毎に追加する方法とカメラ毎に追加する方法があります。

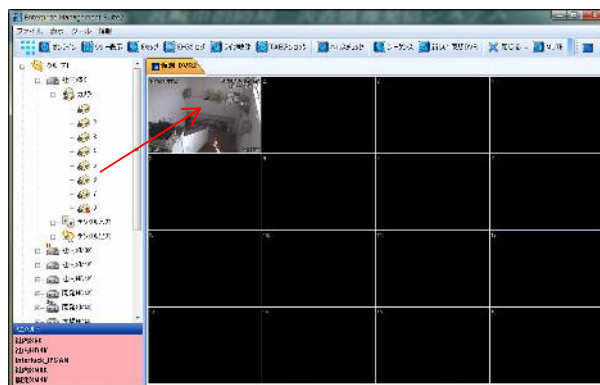
a. デバイス毎に追加

仮想 DVR に各デバイスのチャンネルを全て追加するには、デバイスのアイコンを仮想 DVR のメインウィンドウにドラッグ&ドロップします。



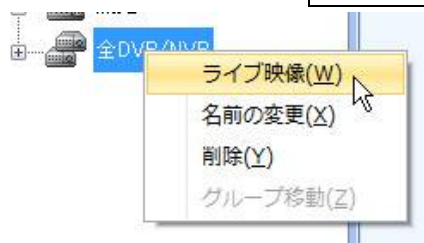
b. カメラ毎に追加

仮想 DVR に各デバイスの個別のチャンネルを追加するには、デバイスのアイコンを **+** で展開し、表示された個別のカメラアイコンを仮想 DVR のメインウィンドウにドラッグ&ドロップします。



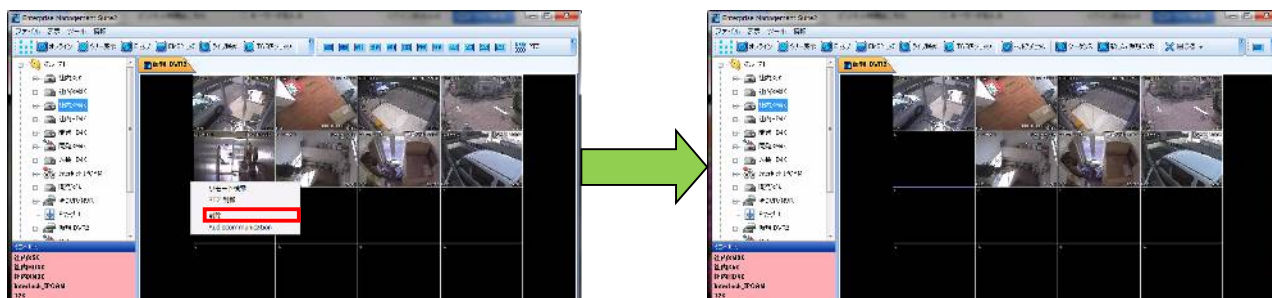
(4) 仮想 DVR によるライブ監視

仮想 DVR でライブ監視を開始する方法は、個別の DVR や NVR でライブ映像を表示する方法と同じで、アイコンをダブルクリックするか右クリックメニューから **ライブ映像(W)** を選択します。



(5) 仮想 DVR からのチャンネルの削除

仮想 DVR から登録されたデバイスを削除するには、メインウインドウの該当するチャンネル部分を右クリックして、表示されたメニューから **削除** を選択します。



3. 再生モード

EMS2 を利用して録画された映像を再生する場合、DVR や NVR に録画されている映像を再生する場合と、EMS2 を実行しているパソコンに保存されている映像を再生する場合の 2 種類の再生モードがあります。

(1) リモート検索

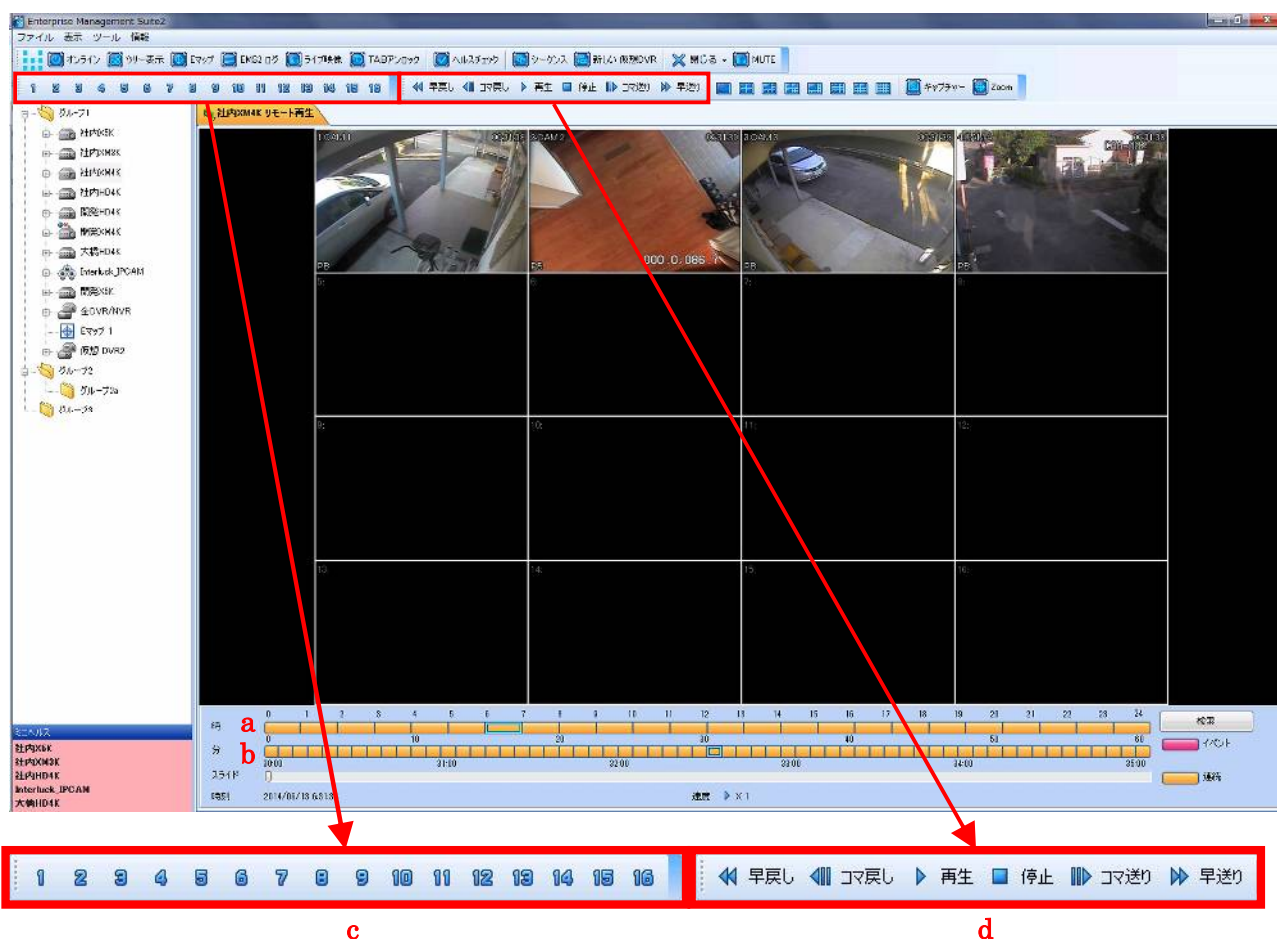
リモート検索は、DVR や NVR に録画されている映像をグラフで選択することで再生したり PC にダウンロードしたりする機能です。DVR や NVR のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから リモート検索を選択します。



項目		説明
a	Storage	DVR または NVR に複数のドライブがある場合は再生またはダウンロードするドライブを選択します。
b	Event select (予定機能)	赤色でグラフ表示するイベント録画の条件を選択するための「Time search select (イベント検索選択)」ウィンドウを開きます。52 ページ参照。
c	年月	再生またはダウンロードする映像が録画された「年月」を選択します。
d	日	再生またはダウンロードする映像が録画された「日」を選択します。
e	時	再生またはダウンロードする映像が録画された「時」を選択します。
f	分	再生またはダウンロードする映像が録画された「分」を選択します。
g	再生	指定された日時からの再生を開始します。
h	ダウンロード	指定された日時範囲に録画された映像のダウンロードを開始します。ダウンロードの状態は「ダウンロード状態」ウィンドウで表示されます。54 ページ参照

<情報>

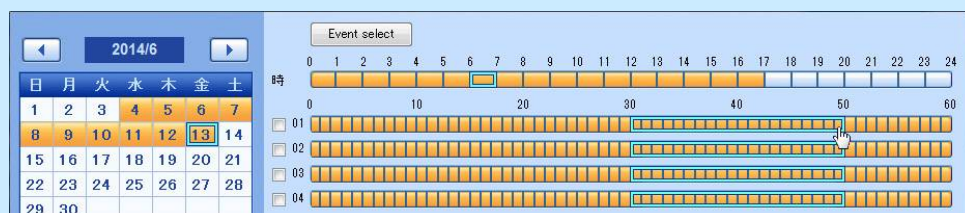
- メインウィンドウのライブ映像を右クリックしてこのウィンドウを開いた場合は、右クリックしたチャンネルだけの情報が表示されます。
- メインウィンドウのライブ映像を右クリックしてこのウィンドウを開いた場合、ダウンロード機能は利用できません。



項目	説明
a	「時」選択 再生開始の「時」を再指定します
b	「分」選択 再生開始の「分」を再指定します。
c	チャンネル選択ボタン 再生するチャンネルをワンクリックで指定します。
d	再生制御ボタン 再生の方向と速度をコントロールします。

<情報>

- マウスの左ボタンを押しながら左右に動かすことで範囲を指定することができます。



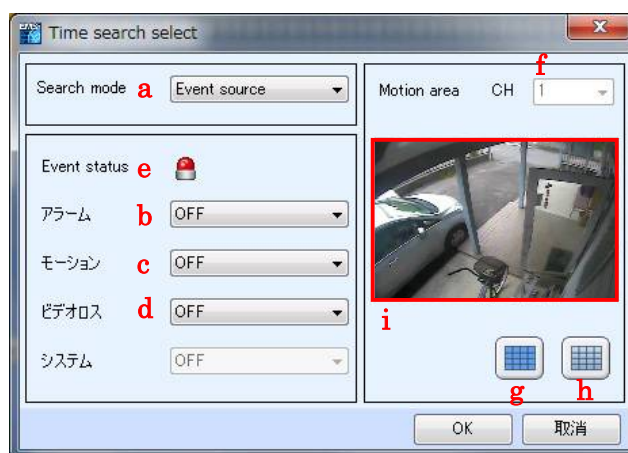
- グラフの表示色は録画モードを示します。



色	説明
黄	ノーマル録画
緑	モーション録画 (PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズのみ)
ピンク	アラーム録画 (PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズ) イベント録画 (その他の機種)

- 一時停止は **コマ送り** または **コマ戻し** ボタンを使います。

(2) Time search select (時間検索選択)

Time search select (時間検索選択) ウィンドウは、リモート検索ウィンドウのグラフ表示で赤く示すための条件を選択します。



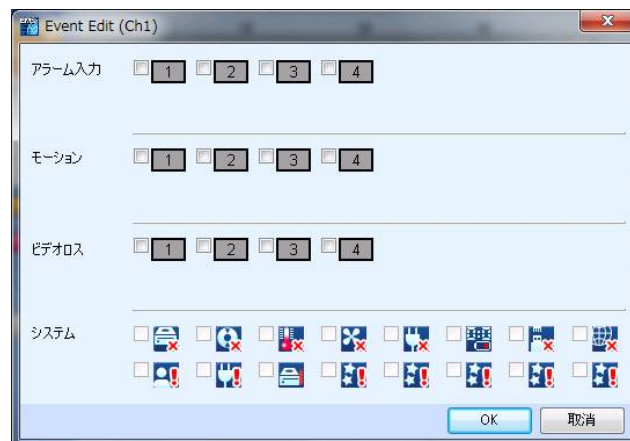
項目		説明
a	Search mode	イベントとして表示する条件の検出方法を以下の 3 つから選択します。
		イベント録画 全てのイベント録画をイベントとして表示します。
		Event source 以下の b ~ e の条件を個別に選択してイベントとして表示します。
		Motion area ノーマル録画・イベント録画の違いに関係なく、録画された映像の被写体の動きを検出してイベントとして表示します。
b	アラーム	「Search mode」で「Event source」が選択されている場合に、アラーム録画された 1 つまたは全てのチャンネルを含める場合に選択します。
c	モーション	「Search mode」で「Event source」が選択されている場合に、モーション録画された 1 つまたは全てのチャンネルを含める場合に選択します。
d	ビデオロス	「Search mode」で「Event source」が選択されている場合に、ビデオロス録画された 1 つまたは全てのチャンネルを含める場合に選択します。
e	Event status	「Search mode」で「Event source」が選択されている場合に、「アラーム」「モーション」「ビデオロス」それぞれ任意のチャンネルを選択することができる「Event edit (イベント編集)」ウィンドウを表示します。52 ページ参照。
f	CH	「Search mode」で「Motion area」が選択されている場合に、モーション検出エリアを設定するチャンネルを選択します。
g		「Search mode」で「Motion area」が選択されている場合に、全てのエリアを検出エリアに設定します
h		「Search mode」で「Motion area」が選択されている場合に、全てのエリアを検出エリアから除外します。
I	モーショングリッド	<p>モーション検出用の 8×8 のエリアを個別に変更します。</p> <p>左クリック→選択したエリアを検出エリアに設定します。</p> <p>右クリック→選択したエリアを検出エリアから除外します。</p>



(3) Event edit (イベント編集)

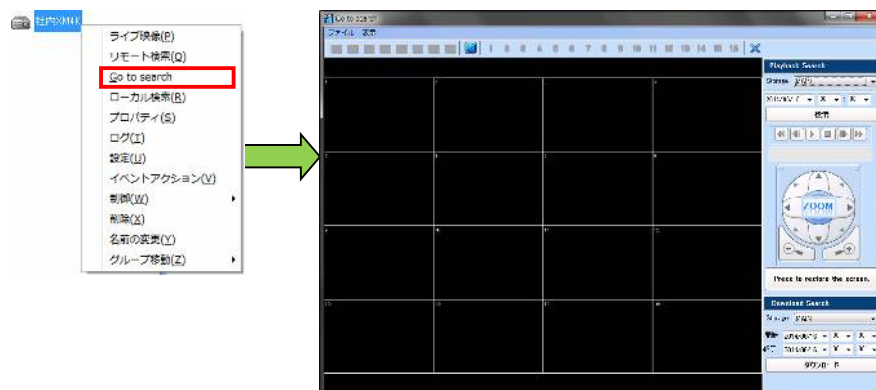
Event edit (イベント編集) ウィンドウでは、「Time search select」ウィンドウの Event source 検索で、任意のチャンネルのアラーム・モーション・ビデオロスによるイベント検出を指定することが出来ます。

利用法は DVR または NVR の「イベント編集」と同じで、必要な種類のイベントの必要なチャンネルのチェックボックスをチェックします。



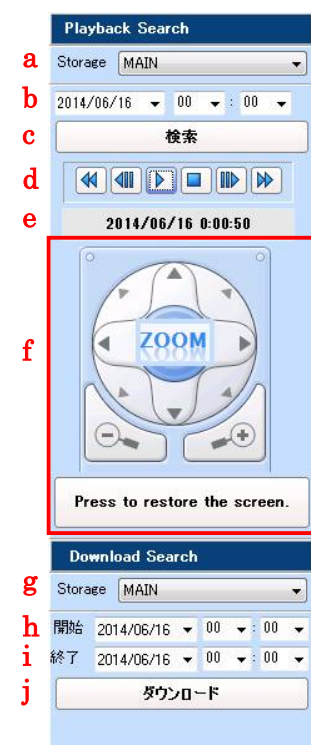
(4) Go to search

Go to search は、DVR や NVR に録画されている映像を、数値で日時の範囲を指定することによって再生したり PC にダウンロードしたりする機能です。DVR や NVR のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから Go to search を選択します。



Go to search の各機能を次に示します。

項目		説明
a	Storage	ディスクが複数ある場合、再生対象のディスクを選択します。
b	再生日時	再生を開始する日時を入力します。
c	検索	再生開始位置を検索します。
d	再生制御	再生方向と速度をコントロールします。ボタンの記号の意味は 49 ページの「リモート検索」を参照してください。
e	再生日時	現在再生中の映像が録画されたおおよその日時を表示します。
f	ズーム制御	再生中の映像を拡大表示します。各ボタンの機能については 45 ページを参照してください。
g	Storage	録画用ディスクが複数ある場合、ダウンロード対象のドライブを選択します。
h	開始	ダウンロードを開始する録画日時を選択します。
i	終了	ダウンロードを終了する録画日時を選択します。



j	ダウンロード	ダウンロードを開始します。ダウンロードの状態は「ダウンロード状態」ウインドウで表示されます。 54 ページ参照
---	--------	------------------------------------------------------------

基本的な手順は、再生の場合「a」→「b」→「c」→「d」、ダウンロードの場合「g」→「h」→「i」→「j」のような順序で操作します。

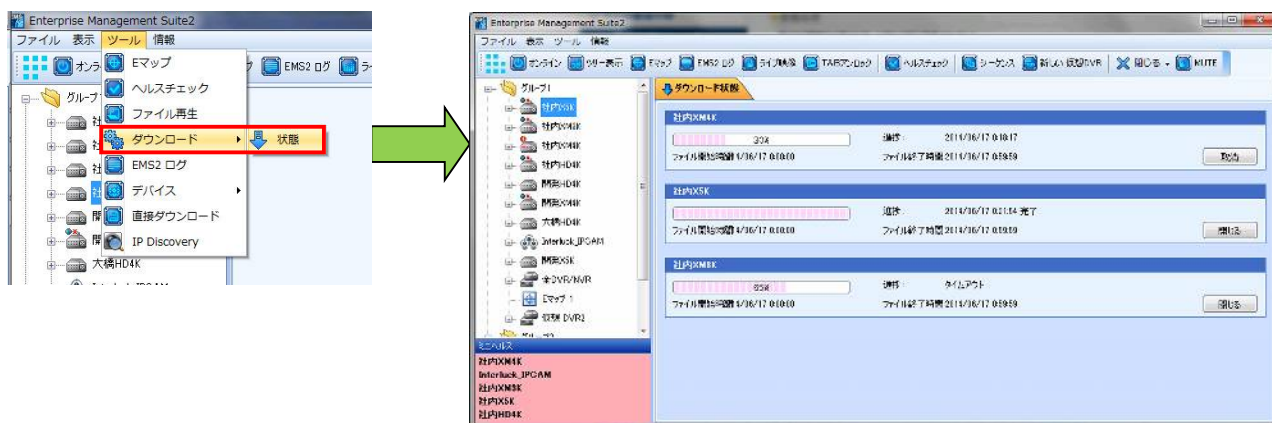
<注意>

- 右側に表示される再生日時と各チャンネルのウインドウに表示されている再生日時にズレがある場合は、各チャンネルのウインドウに表示されている日時が録画時点の DVR の時計に対してより忠実です。

(5) ダウンロード状態

「ダウンロード状態」ウインドウでは、リモート検索・Go to search・SCHEDULE BACKUP 等によるダウンロードの実行状況を確認します。

「ダウンロード状態」ウインドウは、メニューから **ツール** → **ダウンロード** → **状態** で開きます。また、「リモート検索」と「Go to search」からダウンロードを開始した場合は自動的に開きます。



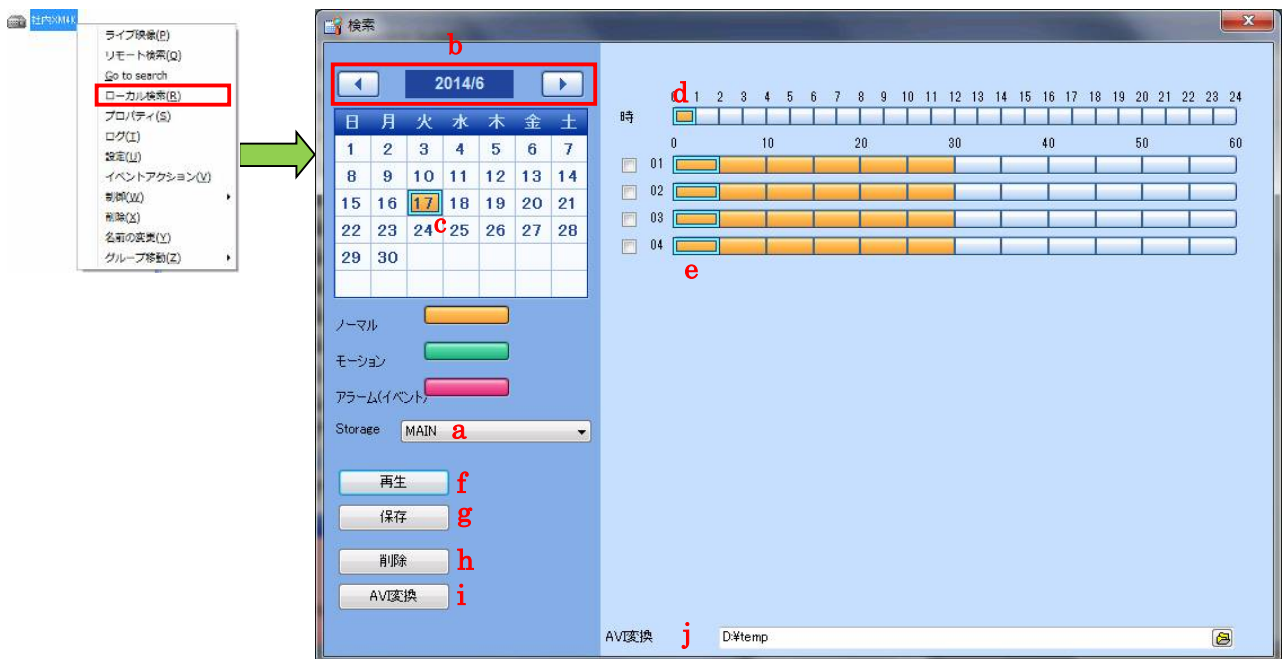
表示とボタンの意味は次に示します。

社内XM4K	
<div> <div>30%</div> <div>a</div> </div> <div> <div>進捗:</div> <div>2014/06/17 0:18:17</div> <div>b</div> </div> <div> <div>ファイル開始時間</div> <div>2014/06/17 0:00:00</div> <div>c</div> </div> <div> <div>ファイル終了時間</div> <div>2014/06/17 0:59:59</div> <div>d</div> </div> <div> <div>e</div> <div>取消</div> </div>	
社内X5K	
<div> <div></div> <div>a</div> </div> <div> <div>進捗:</div> <div>2014/06/17 0:21:54 完了</div> <div>b</div> </div> <div> <div>ファイル開始時間</div> <div>2014/06/17 0:00:00</div> <div>c</div> </div> <div> <div>ファイル終了時間</div> <div>2014/06/17 0:59:59</div> <div>d</div> </div> <div> <div>f</div> <div>閉じる</div> </div>	
社内XM3K	
<div> <div>65%</div> <div>a</div> </div> <div> <div>進捗:</div> <div>タイムアウト</div> <div>b</div> </div> <div> <div>ファイル開始時間</div> <div>2014/06/17 0:00:00</div> <div>c</div> </div> <div> <div>ファイル終了時間</div> <div>2014/06/17 0:59:59</div> <div>d</div> </div> <div> <div>f</div> <div>閉じる</div> </div>	

項目		説明
a	グラフ表示	ダウンロードの進捗状況または結果を、指定した範囲に対する割合で%表示します。
b	進捗	ダウンロードの進捗を、現在転送しているデータが録画された日時で表示します。また、ダウンロードが終了または中断している場合はその結果を文字で表示します。
c	ファイル開始時間	指定したダウンロード範囲の開始日時を表示します。
d	ファイル終了時間	指定したダウンロード範囲の終了日時を表示します。
e	取消ボタン	現在実行中のダウンロードを中止します。
F	閉じるボタン	終了または中断したダウンロードの結果表示をウインドウから消去します。

(6) ローカル検索

ローカル検索は、既に PC にダウンロードされている映像を再生したり他の場所にコピーしたり AVI 変換したりする機能です。



項目		説明
a	Storage	予定機能です、使用できません。
b	年月	再生またはダウンロードする映像が録画された「年月」を選択します。
c	日	再生またはダウンロードする映像が録画された「日」を選択します。
d	時	再生またはダウンロードする映像が録画された「時」を選択します。
e	分	再生またはダウンロードする映像が録画された「分」を選択します。
f	再生	指定された日時からの再生を開始します。
g	保存	指定された日時範囲に録画された映像を他のドライブやフォルダに保存します。
h	削除	指定された日時範囲に録画された映像を削除します。
i	AVI 変換	指定された日時範囲に録画された映像を AVI 変換します。
j	AVI 変換	AVI 変換されたファイルを保存するパス（ドライブとフォルダ）を入力します。

再生ウインドウの操作については 49 ページの「リモート検索」を参照してください。



<注意>






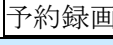
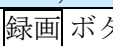
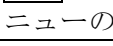
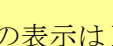




- ローカル検索は、対象のデバイスと通信できなければ利用することは出来ません。












4. DVR／NVR のプロパティ

EMS2 から、個別の DVR 及び NVR の状態を確認します。



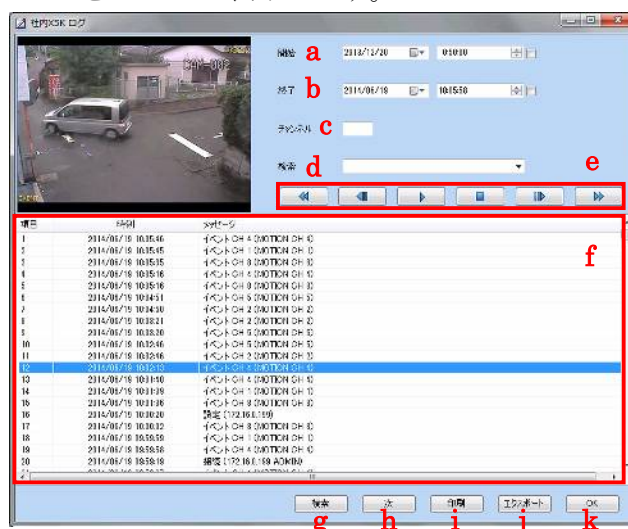
DVR 情報	
DVR 名称	DVR または NVR の EMS2 での登録名称を表示します。
IP アドレス	EMS2 に登録した DVR または NVR の IP アドレスを表示します。(“ホスト名.ドメイン名”で登録されている場合はその形式で表示されます)
ポート	EMS2 に登録した DVR または NVR のアクセスポート番号を表示します。
DVR モデル	EMS2 が検出した DVR または NVR の機種分類を示す文字列を表示します。この分類は“HDD Calculator”で HDD の録画可能期間を計算するために使用します。
システム時刻	DVR または NVR の時計の日時をリアルタイムで表示します。
動作時間	DVR または NVR を起動してからの日数と時間を表示します。
記録残存期間	DVR または NVR に残されている映像の期間を日数と時間で表示します。
ハードディスク容量	DVR のハードディスクの残容量と総容量を表示します。
バックアップ装置容量	予定機能
システム情報	
CPU ファン	DVR または NVR の CPU ファンの状態を示します。アイコンが表示されていない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。
	<div><情報></div> <ul style="list-style-type: none"> 2014 年 7 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品はありません。従って、通常この欄にアイコンが表示されることはありません。
	 CPU ファンが正常な状態であることを示します。
	 CPU ファンが停止していることを示します。

システムファン	DVR または NVR のケースファンの状態を示します。アイコンが表示されていない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
	<div> <div><情報></div> <ul style="list-style-type: none"> 2014 年 7 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品はありません。従って、通常この欄にアイコンが表示されることはありません。 </div>	
		ケースファンは正常な状態であることを示します。
		ケースファンが停止していることを示します。
HDD	DVR または NVR の HDD の状態を表示します。	
		HDD の状態が正常であることを示します。
		HDD にエラーが発生していることを示します。
予約録画	DVR または NVR の予約録画の状態を示します。このアイコン表示の「開始」と「停止」の概念は、DVR/NVR の機種毎に異なります。	
	PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズ	
	停止	 予約録画 ボタンが押されていない状態。
	開始	 予約録画 ボタンが押されている状態。
	PDR-X5100, PDR-XM4000, PNR-HD4000 シリーズ	
	停止	 録画 ボタンが押されていないか、押されている場合でも「録画」メニューの「設定」タブで「予約録画使用」が「OFF」の状態。
	開始	 録画 ボタンが押されている状態で、かつ「録画」メニューの「設定」タブで「予約録画使用」が「ON」の状態。
	<div> <div><注意></div> <ul style="list-style-type: none"> この表示は DVR, NVR の  予約録画 ボタンまたは設定の状態を示すもので、実際に録画が実行されているかどうかを示すものではありません。(例：予約録画で録画を実行しない時間帯も「予約録画が開始されている」と解釈) </div>	
		予約録画が開始されている状態を示します。
		予約録画が停止されている状態を示します。
CPU 温度	DVR または NVR の CPU 温度の状態を示します。アイコンが表示されない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
	<div> <div><情報></div> <ul style="list-style-type: none"> 2014 年 5 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品はありません。従って、通常この欄にアイコンが表示されることはありません。 </div>	
		CPU の温度が正常な状態であることを示します。
		CPU の温度が異常な状態であることを示します。

システム温度	DVR または NVR の内部温度の状態を示します。アイコンが表示されない場合は、装置がこの機能に対応していない事を示します。	
	<div> <div><情報></div> <ul style="list-style-type: none"> 2014 年 5 月現在、過去に弊社で販売した製品で、この機能に対応している製品は、PDR-X5100 シリーズのみです。 </div>	
		装置の温度が正常な状態であることを示します。
		装置の温度が異常な状態であることを示します。
バックアップ	DVR または NVR のバックアップの状態を表示します。	
		バックアップ中の状態を示します。
		バックアップが実行されていない状態を示します。
録画	DVR または NVR の録画ボタンの状態を示します。	
	<div> <div><注意></div> <ul style="list-style-type: none"> この表示は DVR, NVR の 録画 ボタンの状態を示すもので、実際に録画が実行されているかどうかを示すものではありません。(例：イベント録画でイベントが発生していない状態も「録画が開始されている」と解釈) </div>	
		録画が開始されている状態を示します。
		録画が停止されている状態を示します。
カメラ情報		
DVR または NVR の各カメラの状態を示します。		
	映像が正常に入力されていますが、録画は実行されていない状態を示します。	
	映像が正常に入力されており、ノーマル録画中であることを示します。(PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズのモーション録画を含む)	
	ビデオロス状態を示します。	
	イベント録画中またはアラーム録画中を示します。	
	現在、モーションを検出していることを示します。	

5. ログ (DVR ログ)

DVR 及び NVR のシステムログを EMS2 で表示します。



項目		説明
a	開始	ログを取得する開始日時を指定します。
b	終了	ログを取得する終了日時を指定します。
c	チャンネル	ログの検索対象とするチャンネル番号を入力します。
d	検索	予定機能
e	再生コントロールボタン	ログリストで選択されているチャンネルを再生する場合に、再生方向や速さを指定します。
f	ログリスト	検索されたログリストを表示します。また、特定の行をマウスでクリックすると反転表示になり、再生コントロールボタンを利用して該当する日時の該当するチャンネルの映像を再生することが出来るようになります。
g	検索 ボタン	ログの検索を開始します。検索対象は最初の 1000 行です。
h	次 ボタン	検索結果のログが 1000 行を超える場合に、検索結果を 1000 行ずつ追加します。
i	印刷 ボタン	検索されたログを印刷します。
j	エクスポート ボタン	ログリストをテキストファイルとしてエクスポートします。
k	OK ボタン	ログウインドウを閉じます。

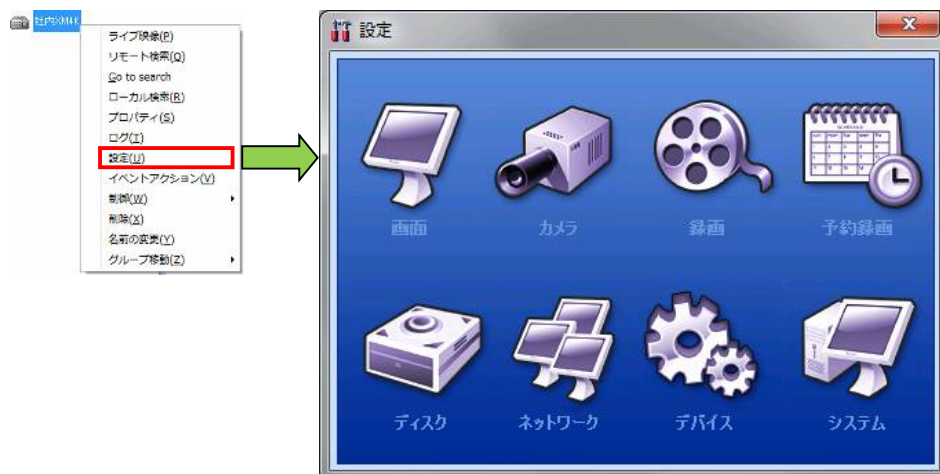
基本的な検索操作の手順は、「a」→「b」→「c」→「f」→「g」のような順序で操作します。なお、「a」「b」「c」の選択と入力を省略すると、全てのログが検索対象になります。

<注意>

- 初期設定では DVR ログは 1000 行ずつ検索されますが、31 ページの「EMS2 の設定」の「③その他」内の設定を変更することで一度の操作で全行を検索できるように設定することもできます。しかしその場合、ログの件数が多いと待ち時間が極めて長くなることがあり、EMS2 ソフトウェアのフリーズと勘違いする場合がありますのでご注意ください。
- 「a」「b」は右のチェックボックスをチェックしなければ有効になりません。

6. 設定（DVR／NVR の遠隔設定）

DVR 及び NVR の設定メニューを EMS2 から遠隔設定します。この設定は DVR／NVR 各機種の設定メニューに依存しますので、各機種の取扱説明書を参照してください。



1. DVR／NVR と EMS2 での設定メニュー内の表現の相違について

DVR／NVR の録画メニュー内で使われている 5 段階の画質設定は、その段階の名称が機種毎に異なります。しかし EMS2 では統一の名称で取扱う仕組みになっております。次の表にその対応関係を示します。

シリーズ	EMS2 PNR-HD4000 PDR-XM4000 PDR-X5100	PDR-XM3000	PDR-S2000 V2 マウス対応	PDR-S2000 V1 マウス非対応
画質の段階	最高画質	BEST	最高画質	ULTRA
	超高画質	SUPER	高画質	SUPER
	高画質	HIGH	良画質	HIGH
	中画質	MIDDLE	中画質	MIDDLE
	低画質	LOW	低画質	LOW

7. POS データ検索

この機能は、2014 年 7 月現在、弊社ではサポートしておりません。

8. 制御

1. 録画

DVR, NVR または IP カメラグループの右クリックメニューから **制御(W)** → **録画(Y)** → **開始(Y)** または **停止(Z)** で録画の開始または停止をします。



結果は DVR または NVR のプロパティで確認することが出来ます。IP カメラの場合は

2. 予約録画

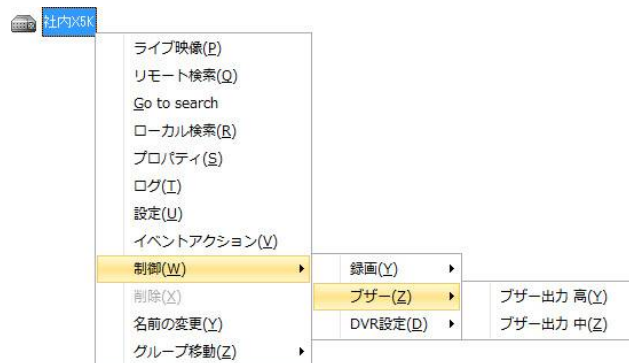
DVR の右クリックメニューから **制御(W)** → **予約録画(Z)** → **開始(Y)** または **停止(Z)** で予約録画の開始または停止をします。



結果は DVR または NVR のプロパティで確認することが出来ます。IP カメラグループの場合はライブ表示の左下に表示されるステータス表示が **“REC”** になっていれば録画中を示します。

3. ブザー

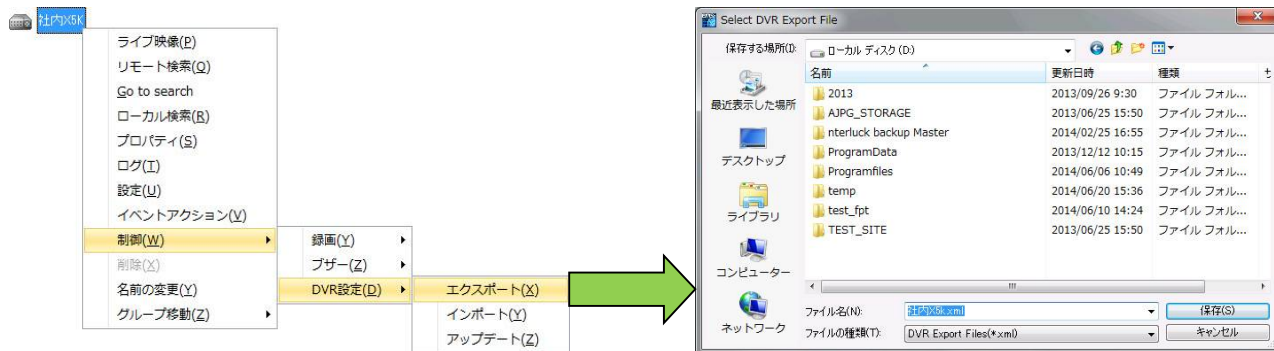
DVR の右クリックメニューから **制御(W)** → **ブザー(Z)** → **ブザー鳴動** または **ブザー停止** で予約録画の開始または停止をします。



4. DVR 設定

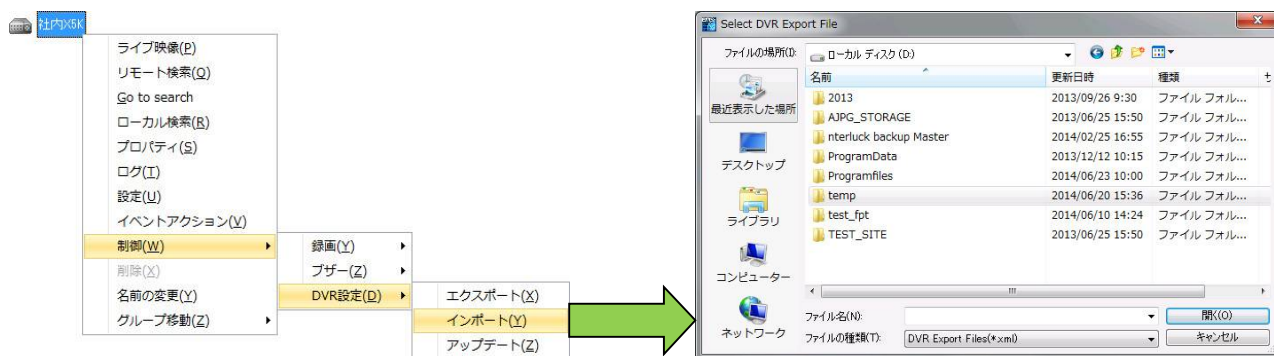
(1) エクスポート

DVR または NVR の右クリックメニューから **制御(W)** → **DVR 設定(D)** → **エクスポート(X)** で設定をファイルにエクスポートします。



(2) インポート

DVR または NVR の右クリックメニューから **制御(W)** → **DVR 設定(D)** → **インポート(Y)** で設定をファイルからインポートします。



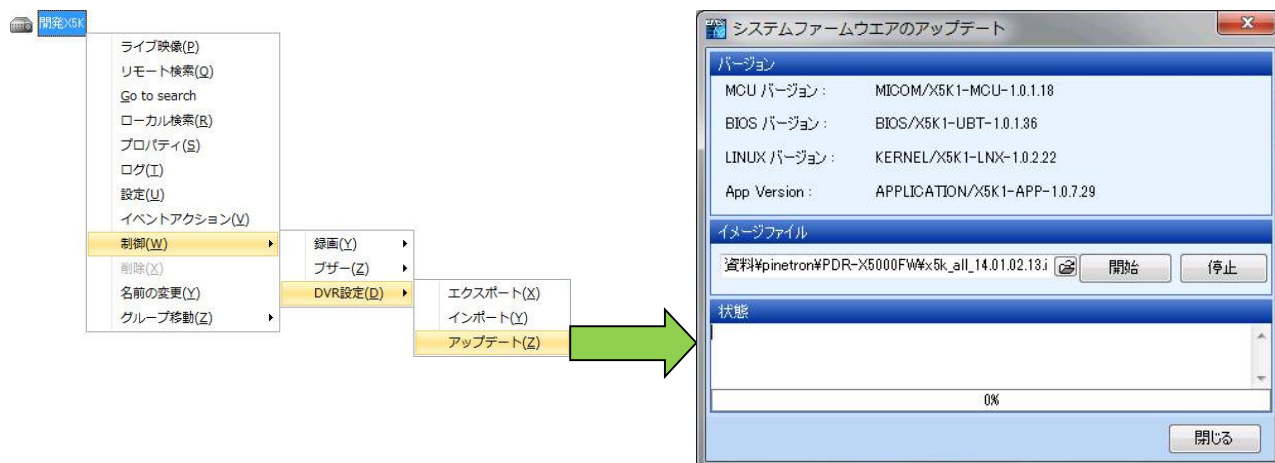
<注意>

2014 年 7 月現在、この機能は PDR-XM4000, PNR-HD4000 シリーズでは、ウインドウは表示されますがご利用いただけません。 <予定機能>

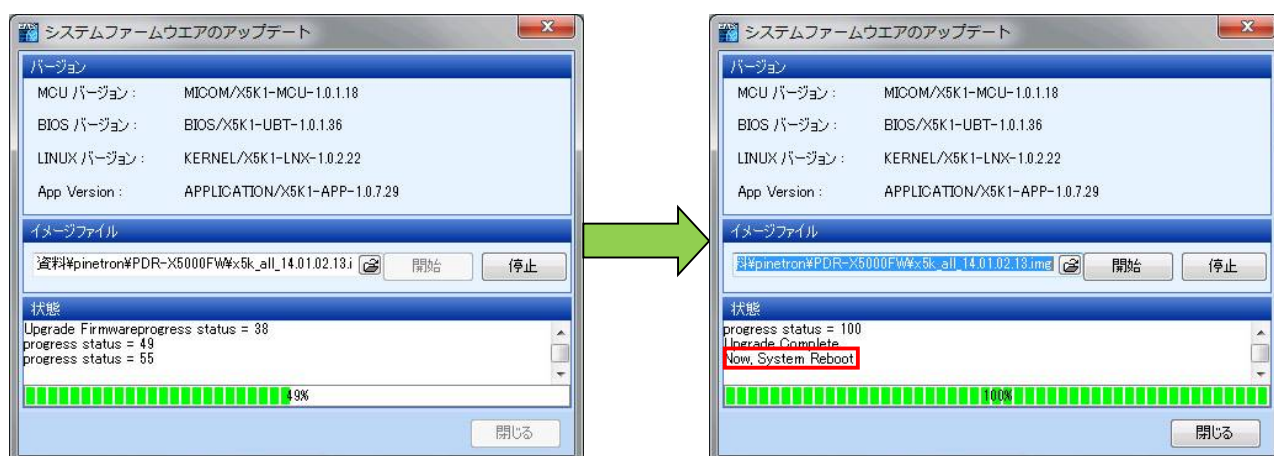
(3) アップデート

DVR または NVR の右クリックメニューから **制御(W)** → **DVR 設定(D)** → **アップデート(Z)** でファーム


ウェアをアップデートします。




上の段の「バージョン」の項目に DVR または NVR の現在のファームウェアバージョンが表示されます。中央の段の「イメージファイル」の項目でアップデートするファイルを選択し、**開始** ボタンをクリックします。アップデート中は次のように表示が変化します。



下段の「状態」の項目に “Now System Reboot” 表示が出たら 閉じる ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。

DVR または NVR の再起動中は一時的に接続が切れますのでデバイスリストのアイコンが  表示になります。

DVR または NVR の再起動が完了すると、数分後にデバイスリストのアイコンが  表示になりますので、再度アップデートウインドウを表示させて、バージョン番号が変わっていることを確認します。

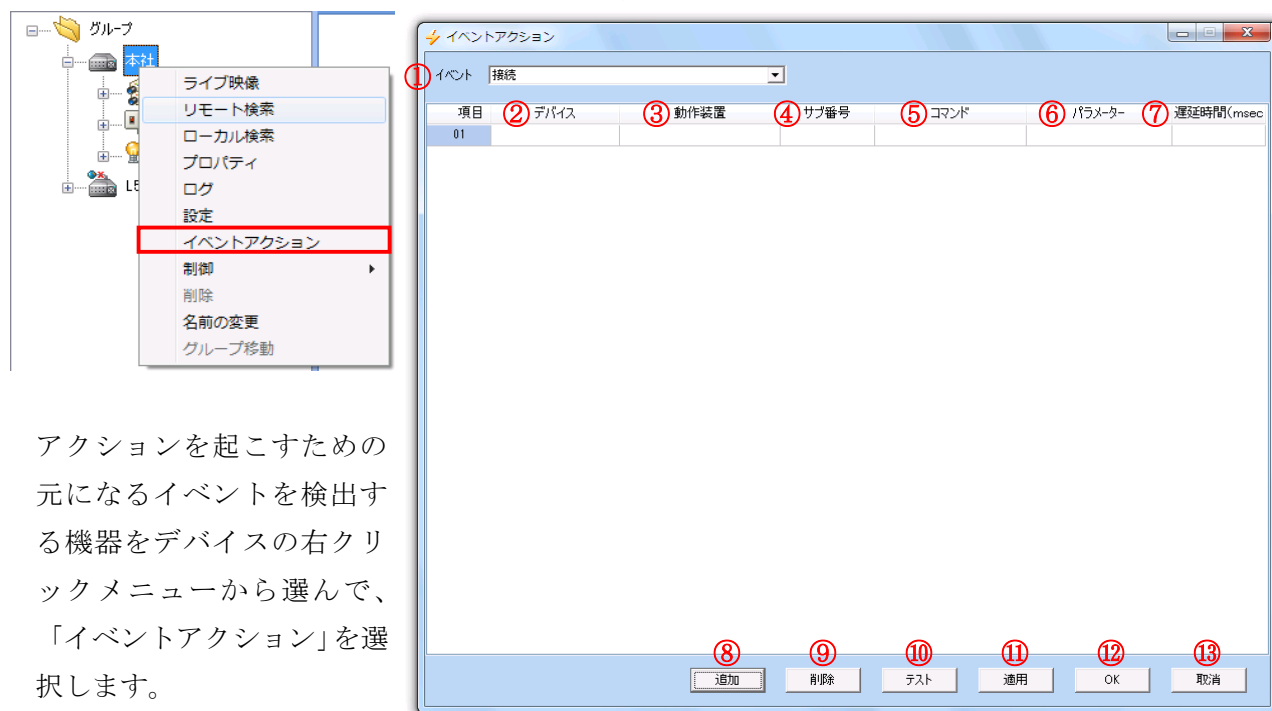


VI イベントアクション

<注意>

- この機能で DVR 及びそれに接続されたデバイスを制御する場合、制御を受ける DVR 側の設定で、制御対象のデバイスが利用可能な状態に設定されていなければなりません。

イベントアクション機能は、DVR/NVR/IP カメラグループ及びそれに接続（登録）されたカメラやセンサー等で発生したイベントを元に、PC での警告や DVR の制御を実行する機能です。



アクションを起こすための元になるイベントを検出する機器をデバイスの右クリックメニューから選んで、「イベントアクション」を選択します。

イベントアクションが利用可能なデバイスは、「DVR/NVR」及びそれに接続された「カメラ」「アラーム入力」です。

① イベント

アクションを起こすための元になるイベントの種類を選択します。

選択可能なイベントの種類は、デバイスリストでウインドウを開くときに選択したデバイスの種類に応じて下表のようになります。

デバイスの種類	利用可能なイベントの種類
DVR/NVR	接続・ネットワーク切断・ハードディスク異常・ファン故障・温度異常
カメラ	モーション録画開始・モーション録画終了・アラーム録画開始 アラーム録画終了・ビデオ信号復旧・ビデオロス検出・モーション検出
アラーム入力	アラーム入力 HIGH・アラーム入力 LOW
IP カメラグループ	接続・ネットワーク切断・温度異常
IP カメラ	モーション検出

<情報>

- PDR-X5000, PDR-XM4000, PNR-HD4000 シリーズの「イベント録画」は、EMS2 では「アラーム録画」として扱われます。

② デバイス

EMS2 から制御するデバイスを、登録された DVR の名称または「システム」から選択します。「システム」は EMS2 がインストールされている PC を意味します。

＜注意＞

- デバイスとして個々の DVR が選択されている場合、イベントからアクションまでの流れは、
DVR→PC (EMS2)→DVR
となります。従って PC と DVR のネットワーク接続が切れた場合や EMS を終了した場合等には DVR でアクションが実行されなくなります。

③ 動作装置

デバイスからの出力先を選択します。例えば、デバイスが「DVR」であればカメラやアラームリレー等が、デバイスが「システム」であればウインドウや効果音等がこれに当たります。

④ サブ番号

動作装置として指定した出力先が、PTZ カメラのように複数あり、番号で識別される場合は、その番号を選択します。

⑤ コマンド

動作装置で指定した出力先で実際に実行する動作を指定します。

ここで選択可能な選択肢はデバイスと動作装置によって決まります。

デバイス	動作装置	コマンド	説明
システム	効果音	音声再生	再生する音声は、「パラメーター」のドロップダウンリストから選択できます。
	ウインドウ	警告ウインドウ	予定機能
DVR 名称 DVR, NVR, IP カメラ	カメラ	PTZ 移動	「サブ番号」で指定した ID の PTZ カメラを「パラメーター」で指定したプリセット番号に移動します。
		自動ツアー	予定機能
		オートパン	
		オートチルト	
		スナップショット	サブ番号で指定したカメラのスナップショットをサムネイルとして EMS2 を実行しているパソコンに保存します。 保存したサムネイルは EMS ログウインドウで サムネイル ボタンをクリックしてから検索することで利用できます。
		ライブビデオ	予定機能
		録画	
	デジタル出力	デジタル出力 high	アラーム出力をトリガーします。
		デジタル出力 low	アラーム出力のトリガーを解除します。
	ブザー	ブザー出力 高	ブザーを鳴動します。
		ブザー出力 中	ブザーの鳴動を止めます。

⑥ パラメーター

動作装置で指定したコマンドを実行するために必要なパラメーターを指定します。

a. PTZ カメラ制御の場合

プリセット番号のような、カメラ PTZ オプション用の希望する番号を入力します。

b. 音声再生の場合

警告音の wav ファイルを選択します。

⑦ 遅延時間

イベントの後、コマンドを実行するまでの遅延時間をセットします。(単位：ミリ秒 1000=1 秒)

⑧ 追加

イベントに 1 つのアクション (リスト上の行) を追加します。(最大 25 まで入力できます)

⑨ 削除

選択されたアクションを削除します。

⑩ テスト

選択したアクションをテストします。

⑪ 適用

変更された値を適用します。

⑫ OK


変更された値を適用し、ウインドウを閉じます。

⑬ 取消


変更された値を保存せずにウインドウを閉じます。(変更は破棄されます)

VII E マップ

E マップは、地図や見取り図上に、DVR やカメラのアイコンを配置し、それら进行操作することで機器やカメラの位置をわかりやすくするための仕組みです。

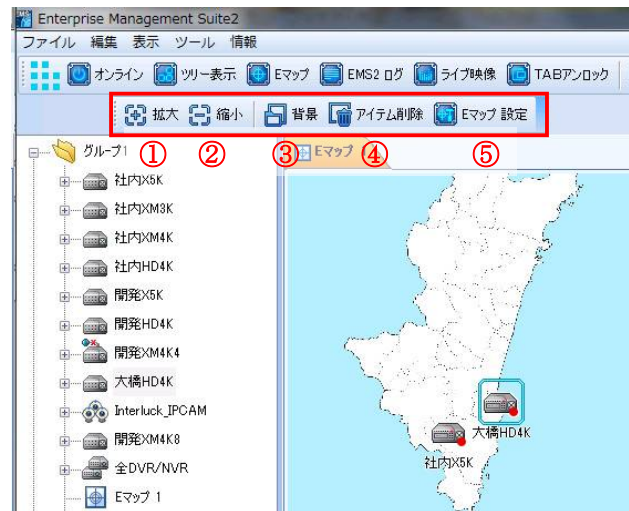
デバイスリストのグループを右クリックし、**新しい E マップ(E)** を選択するかツールバーの  Eマップ ボタンをクリックすると、**E-Map** タブが表示されます。

<注意>

既に E マップが作成されているグループで  Eマップ ボタンを押した場合、既に作成されている E マップが表示されます。新しい E マップを作成する場合は **新しい E マップ** を選択してください。



「E マップ」タブまたは「E マップ」ウインドウには下図のようなボタンが表示されます。

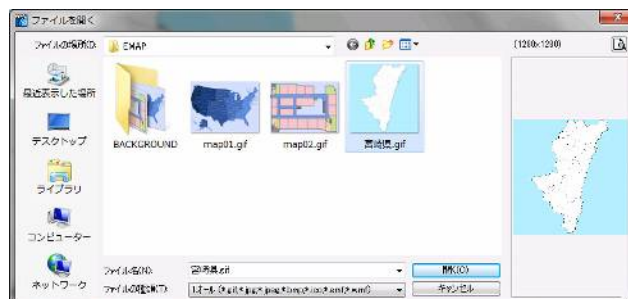


- ① 拡大
E-Map を 2 段階で 400%まで拡大します。
- ② 縮小
E-Map を 2 段階で 25%まで縮小します。
- ③ 背景図
背景図として使用する図のファイルを指定します。
- ④ アイテム削除
E-Map 上の選択されたアイコンを削除します。
- ⑤ E マップ設定

「E-Map 設定」 ウィンドウを開きます。

1. 背景図の挿入

ツールバーの  背景 ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

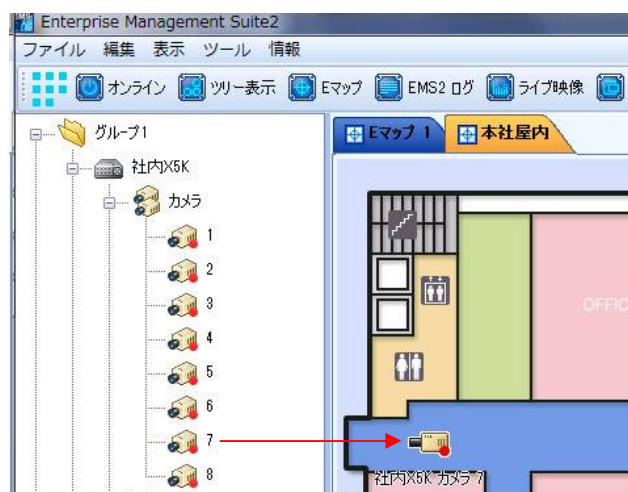



目的の画像ファイルを選択して開くと、E-Map の背景図になります。

初期設定のフォルダは、EMS2 がインストールされているフォルダ内の「EMAP」サブフォルダです。

2. アイコンの追加と削除

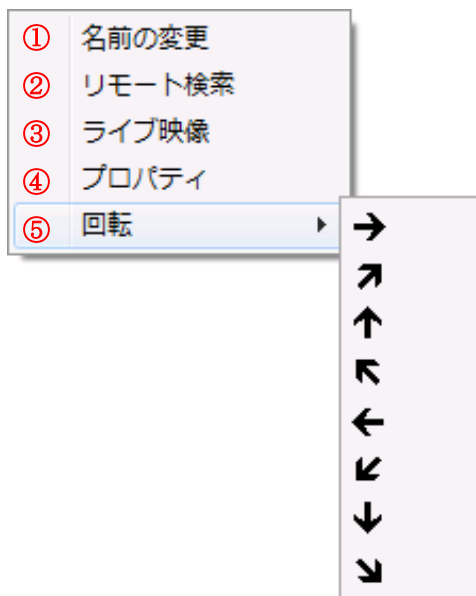
E-Map にカメラや DVR のアイコンを追加するには、デバイスリストから E-Map 内にアイコンをドラッグ&ドロップします。



アイコンを削除するには削除したいアイコンを選択した状態で  アイテム削除 ボタンをクリックします。

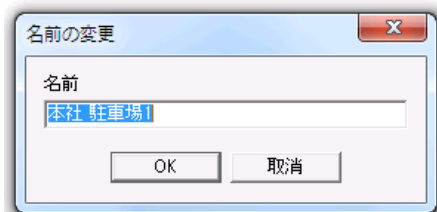
3. アイコンの右クリックメニュー

E-Map アイコンを右クリックすると下図のようなメニューが表示されます。



① 名前の変更

E-Map 画面に表示するアイコンのカメラタイトルまたは DVR 名を変更できます。



<情報>

- E-Map にアイコンを登録したときに初期設定される名称には、DVR に登録されている DVR 名とカメラの番号がコピーされます。
- ここで変更した名称は DVR には反映されません。

② リモート検索

「リモート検索」ウインドウを表示します。

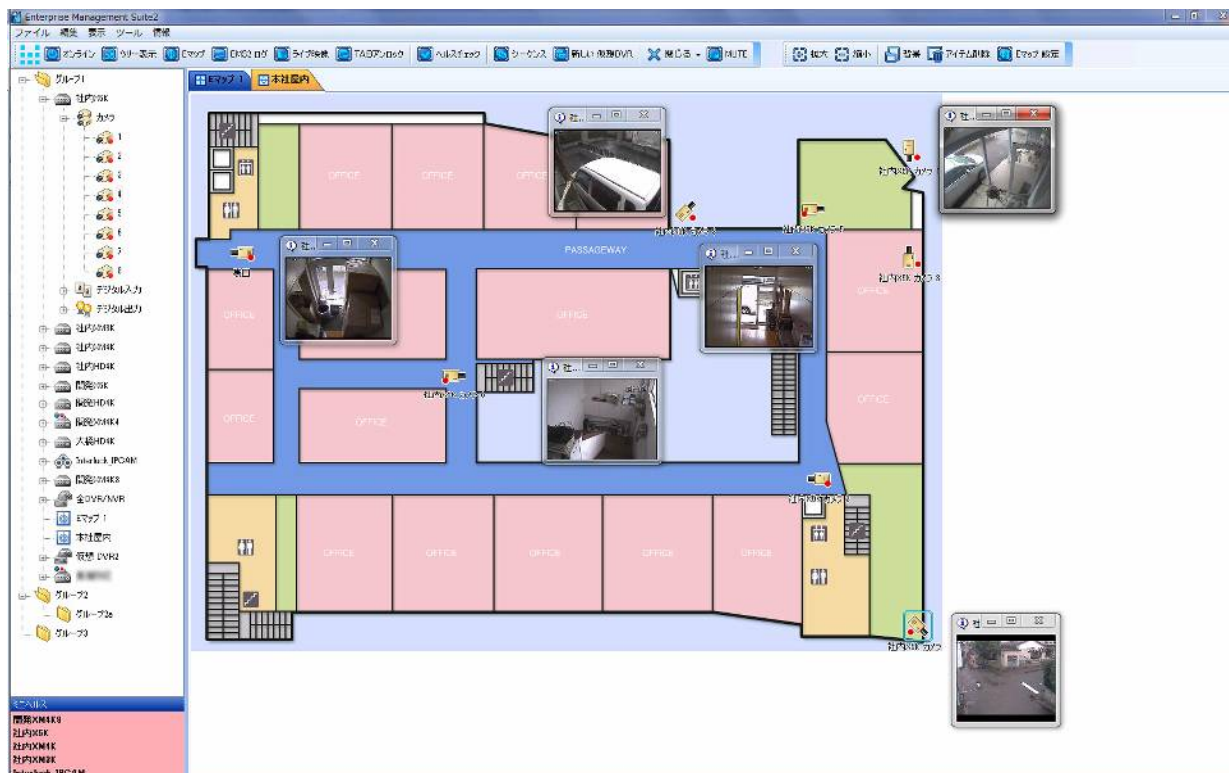
再生日時を指定すると新しいタブが開いて、指定されたカメラで撮影され DVR に録画された映像が表示されます。

<注意>

- E-Map からのリモート検索では、ダウンロードはできません。
- DVR アイコンからのリモート検索はできません。

③ ライブ映像

新しいウインドウを開いて、アイコンを選択したカメラのライブ映像を表示します。



<注意>

E マップ上に表示できるライブウインドウの数の上限は、全ての E マップの合計で 8 ですが、PC のリソース状況により、それより少なくなる場合もあります。

④ プロパティ

DVR の登録情報画面を表示します。ここで表示される画面では、選択されたカメラのアイコンが水色で表示されます。



選択したアイコンに該当するカメラは水色の背景で表示されます。

<注意>

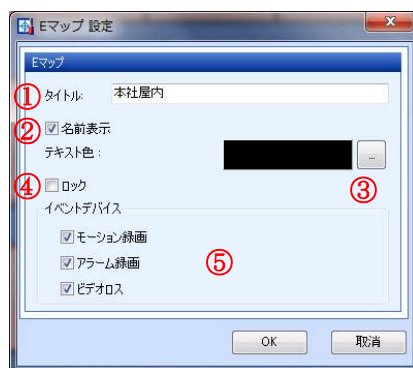
- E-Map の DVR/NVR/IP カメラアイコンから登録情報を表示させることはできません。

⑤ 回転

E-Map 上の選択したカメラアイコンの向きを実際の向きに合わせて 8 方位から選択できます。

4. E マップ設定

E-Map に関する設定をするには、 Eマップ 設定 ボタンをクリックし「E-Map 設定」ウインドウを開きます。



① タイトル

現在操作している E-Map のタイトルを変更します。

② 名前表示

DVR/NVR やカメラのタイトルを表示するか表示しないかを選択します。

③ テキスト色

DVR/NVR やカメラのタイトルを表示するときの文字色を指定します。

④ ロック

E マップの編集（背景図及びアイコンの追加、移動及び削除）を禁止します。

⑤ イベントデバイス

予定機能

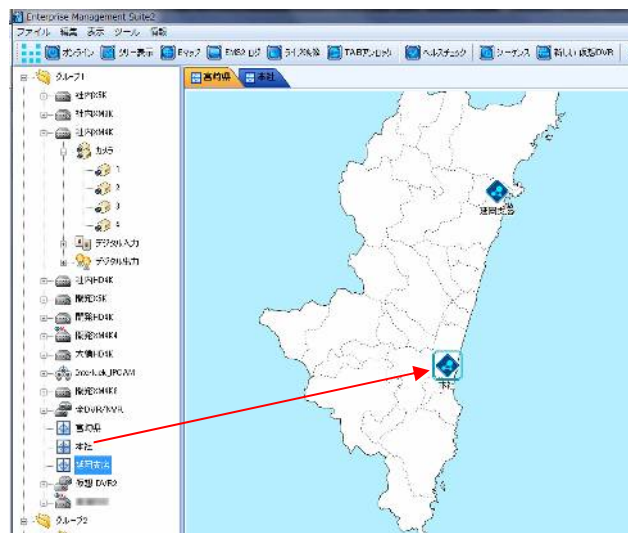
5. E マップリンク

E-Map リンクとは、地図と見取図のように複数の E-map を関連付けるものです。


下の例では、「本社」と「延岡支店」の見取図にカメラアイコンを配置した E-Map があり、その E-Map を「宮崎県」地図の E-map にアイコンとして関連付けています。

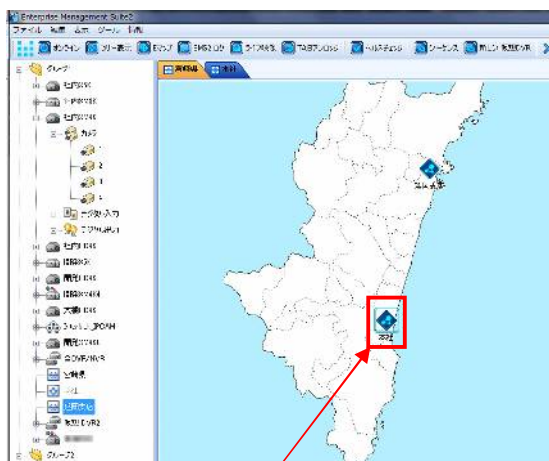
1. E マップリンクの作成

E マップ同士を関連付けは、メインウインドウにリンク元の E マップを開き、その適切な場所にデバイスリストからリンク先の E マップアイコンをドラッグ・アンド・ドロップします。

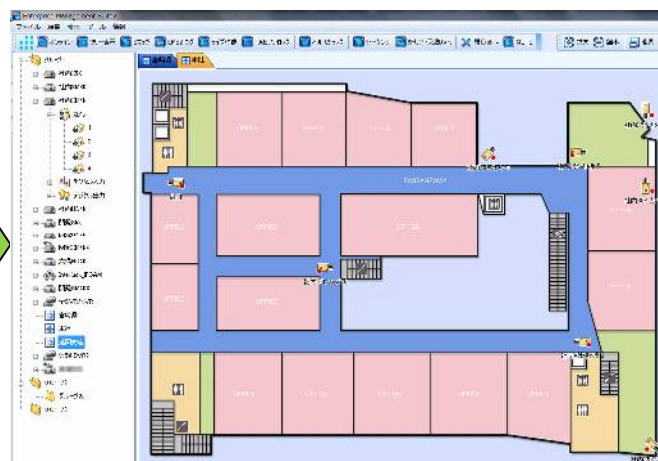


2. E マップリンクを利用したジャンプ

関連付けられた E マップを利用してジャンプする場合は、E マップのメインウィンドウ内にある  アイコンをダブルクリックします。



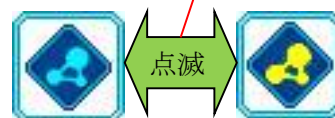
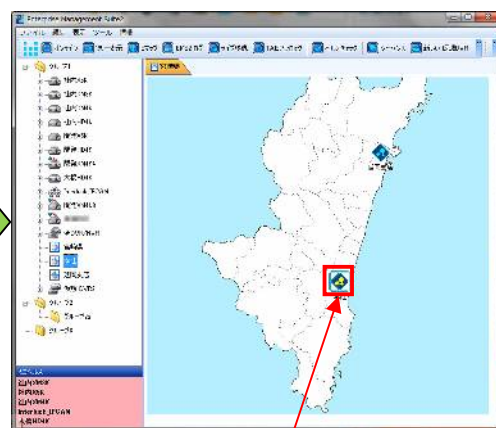
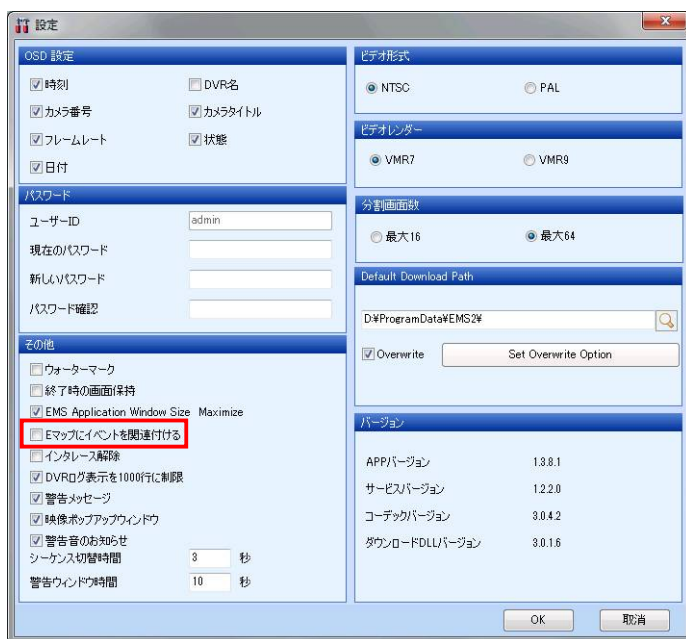
本社のアイコンをダブルクリック



「本社」の見取り図の E マップを表示

3. E マップでのイベント表示

デバイスが登録された E マップがリンクされているリンク元の E マップで、リンク先の E マップ内のデバイスのイベントによってリンク元にあるアイコンを点滅表示させることができます。



EMS2 設定の「E マップにイベントを関連付ける」チェックボックスをチェックするとイベントによって E マップアイコンを点滅させることができます。

VIII 付録

1. メニューバーの構成

1. EMS2 ウィンドウ

ファイル																																																																																																
オンライン オフライン	デバイスへの接続と切断を切り替えます。																																																																																															
設定	「設定」ウインドウを開きます。(EMS2 設定) 30 ページ参照																																																																																															
EMS2 アカウント	「EMS2 アカウント」ウインドウを開きます。34 ページ参照																																																																																															
Save as...	EMS2 に登録されているデバイスの DVR 名のリストをテキストファイルで保存します。																																																																																															
終了	EMS2 を終了します。																																																																																															
表示																																																																																																
ツリー表示	デバイスリストの表示と非表示を切り替えます。																																																																																															
ツールバー表示	ツールバーの表示と非表示を切り替えます。																																																																																															
DVR 検索 Ctrl+F	検索ウインドウに DVR 名称の全部または一部を入力することで、で入力された文字列を含む DVR 名称のデバイスを、デバイスリスト上で順にジャンプします。																																																																																															
ツール																																																																																																
E マップ	E マップウインドウを表示します。68 ページ参照																																																																																															
ヘルスチェック	ヘルスチェックウインドウを表示します。25 ページ参照																																																																																															
ファイル再生	DVR や NVR の独自形式によるバックアップファイルを再生します。																																																																																															
ダウンロード	状態	ダウンロード状態ウインドウを表示します。																																																																																														
EMS ログ	EMS ログリストを表示します。																																																																																															
デバイス	全てエクスポート	デバイスリストを全てエクスポートします。																																																																																														
	全てインポート	デバイスリストを全てインポートします。																																																																																														
直接 Download	複数台の DVR または NVR の録画映像を日単位で期間を指定してダウンロードする機能を実行します。																																																																																															
	<div><div>直接ダウンロード</div><table><thead><tr><th>DVR 名称</th><th>開始</th><th>終了</th><th>01</th><th>02</th><th>03</th><th>04</th><th>05</th><th>06</th><th>07</th><th>08</th><th>09</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th><th>15</th><th>16</th></tr></thead><tbody><tr><td>社内X5K</td><td>2014/07/07</td><td>2014/07/07</td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>社内XM3K</td><td>2014/07/07</td><td>2014/07/07</td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>社内XM4K</td><td>2014/07/07</td><td>2014/07/07</td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>社内HD4K</td><td>2014/07/07</td><td>2014/07/07</td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr></tbody></table><div>開始 閉じる</div></div>		DVR 名称	開始	終了	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	社内X5K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内XM3K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内XM4K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社内HD4K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DVR 名称	開始	終了	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16																																																																														
社内X5K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																														
社内XM3K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																														
社内XM4K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																														
社内HD4K	2014/07/07	2014/07/07	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																														
IP Discovery	IP Discovery を起動します。19 ページ参照																																																																																															
情報																																																																																																
Enterprise Management Suite 2 情報	ソフトウェアのバージョン情報を表示します。																																																																																															
	<div><div>Enterprise Management Suite2 情報</div><table><tbody><tr><td>APPバージョン</td><td>1.3.8.1</td></tr><tr><td>サービスバージョン</td><td>1.2.2.0</td></tr><tr><td>コーデックバージョン</td><td>3.0.4.2</td></tr><tr><td>ダウンロードFDLLバージョン</td><td>3.0.1.6</td></tr></tbody></table><div>OK</div></div>		APPバージョン	1.3.8.1	サービスバージョン	1.2.2.0	コーデックバージョン	3.0.4.2	ダウンロードFDLLバージョン	3.0.1.6																																																																																						
APPバージョン	1.3.8.1																																																																																															
サービスバージョン	1.2.2.0																																																																																															
コーデックバージョン	3.0.4.2																																																																																															
ダウンロードFDLLバージョン	3.0.1.6																																																																																															

2. 分離したライブウインドウ

ファイル	
キャプチャー	キャプチャーウインドウを開きます。46 ページ参照。
録画	PC の HDD への録画を開始します。47 ページ参照
ドッキング アンドドッキング	ウインドウのドッキング／アンドドッキングを切り替えます。41 ページ参照
全画面表示	ウインドウを全画面表示にします。この状態では全てのボタンが表示されなくなり、ライブ映像だけが全画面で表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ウインドウ表示に戻すには、キーボードの ESC ボタンを押します。 </div>
閉じる	ライブウインドウを閉じます。
表示	
分割	画面の分割数を選択します。
PTZ	PTZ コントロールボックスの表示と非表示を切り替えます。43 ページ参照。

3. 分離した再生ウインドウ

ファイル	
キャプチャー	キャプチャーウインドウを開きます。46 ページ参照。
ドッキング アンドドッキング	ウインドウのドッキング／アンドドッキングを切り替えます。41 ページ参照
閉じる	再生ウインドウを閉じます。
表示	
チャンネル	特定のチャンネル番号を選択し、1 画面表示に切り替えます。
分割	画面の分割数を選択します。
トリック再生	再生方向と速度を切り替えます。

4. 分離したヘルスチェックウインドウ

ファイル	
印刷	ヘルスチェックリストをプリンタに出力します。
ドッキング アンドドッキング	ウインドウのドッキング／アンドドッキングを切り替えます。41 ページ参照
閉じる	ヘルスチェックウインドウを閉じます。

5. 分離したダウンロードウインドウ

ファイル	
ドッキング アンドドッキング	ウインドウのドッキング／アンドドッキングを切り替えます。41 ページ参照
閉じる	ダウンロードウインドウを閉じます。

6. 分離した E マップウインドウ

ファイル	
E マップ設定	E マップ設定を開きます。72 ページ参照
背景	背景図を挿入します。69 ページ参照
ドッキング アンドドッキング	ウインドウのドッキング／アンドドッキングを切り替えます。41 ページ参照
閉じる	E マップウインドウを閉じます。
編集	
アイテム削除	E マップ内の選択したアイコンを削除します。69 ページ参照
表示	
拡大	E マップを拡大します。68 ページ参照
縮小	E マップを縮小します。68 ページ参照

輸入販売元



有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>